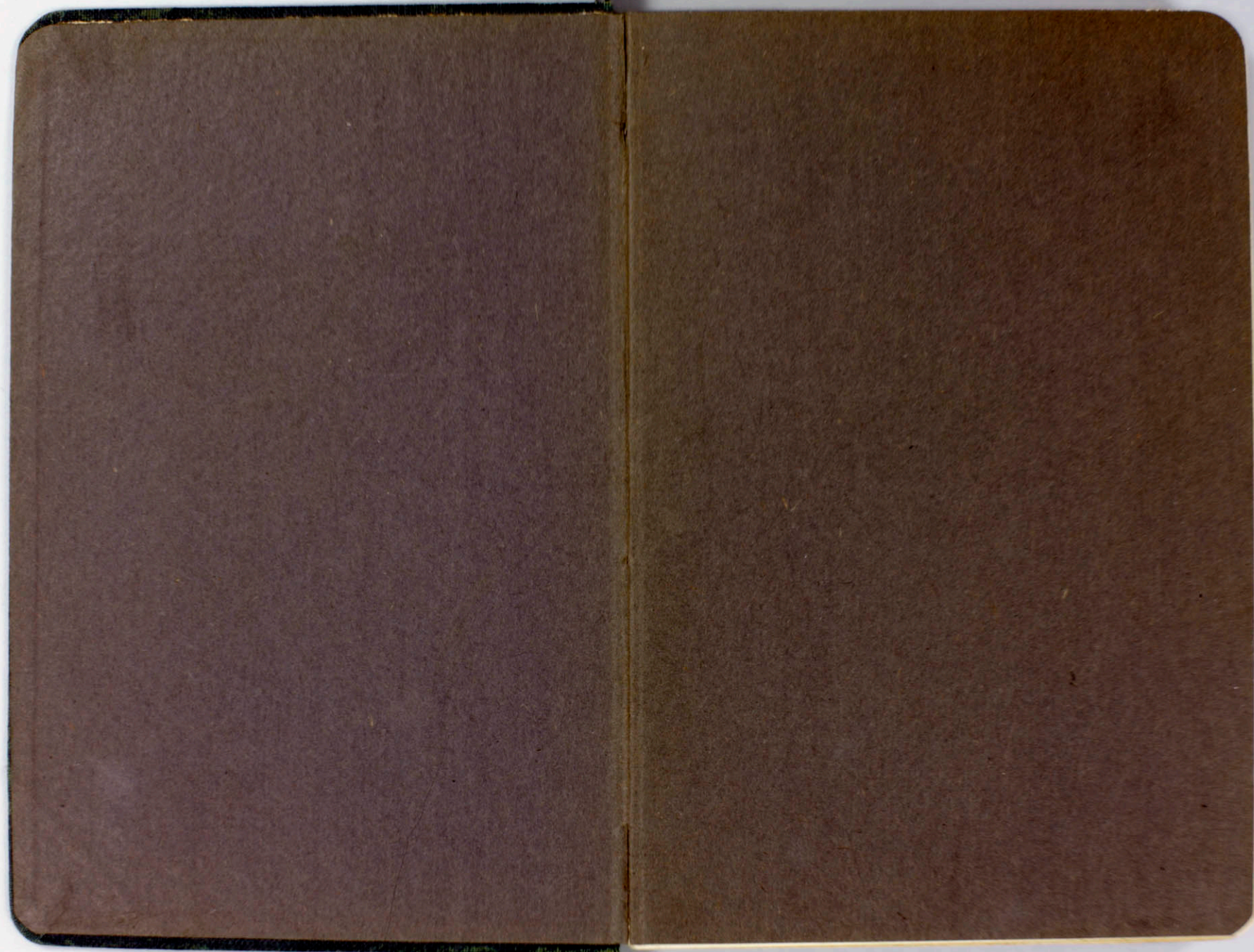


胡和己

1928

(II)

K26



昭和 2 年 4

1928

(二)

五

月

(1928)

14. (日) 晴

午前八時半、改定社、山本実芳氏来訪。所
盟例ニテオモハサシテ、読者大衆、正アル面
ナリ。コレヲ合同ヲ改定シ、相読アリ。今、カ
シアル、同知セズ。読者、来リカスル。今、カ
シ中、高富氏、近來、部ヲ定テ、分、部ニ
ナリ。コレ、ト改定シ、山本氏、今、カ
時、相読ニ合同、計画、不能ナル。今、カ
一時、向テリ。今、カ

九時半、山本実芳氏、加藤氏、即、来訪
久、同ノ叙シ、外、改定社、今、カ、注意、望
リ、今、カ

十時、過、嘉、氏、一、来、訪、同、社、ナリ。今、カ
独、何、可、改定社、今、カ、入、今、カ、他、
ナリ。今、カ、同、社、今、カ、今、カ、今、カ、
今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、
今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、

十一時、山本氏、来訪。十二時、山本氏、
今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、
今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、

山本氏、同、社、今、カ、今、カ、今、カ、
今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、今、カ、

十二時、山本氏、来訪。同、社、今、カ、

五

月

17.

1. カルヤ, 希望アリ 今ハ未だ設計書受付可也, ヤウ
 ナル也 是丈, 有無ウ リバツル上 確差スベシ
 午以五時迄退行可也

(入)

研究所の車立行費

101.92

(出) Butte

1.50

五

月

18. (金) 晴

二 秋の在り 書状の送付 世地・地務の処分

(出) 一冊生計書物

2.40

先收支簿二冊

1.20

21. (月) 晴

紙の右に 外田氏手紙 又先日来、日記に認める
 四ノ字迄表へた、帯狹中、世に、討て置
 林桂=即表、世に、頼り
 林桂=即表、乃人々此之状、中=同上
 表及 Ryazanov 氏、紹介状、封入

22. (大) 晴

午前九時 出所

外田氏書状、認り又執務、処理

大坂市五中央戦争紀念会計、塩路樹雄氏
 制作、全戦犠牲者、計、来週全戦、講演依頼あり
 今草紙、外、時、中央設計委員、前、佐々木
 氏、掛念、過、同、史、研、会、以、午、以、生、り、電、報
 二、七月、延期、の、致、に、成、り、中、央、計、画、草、紙、了
 午、以、一時、所、属、員、令、毒、下、細、川、大、林、久、留、阿

四史名簿:—

M. B. 全生、編輯、(定) 二、本、表、半、表、の、折、回、表
 下、段、報、表、の、二、式、の、折、回、表、之、に、外、に、半、表、
 全生、翻、訳、若、中、一、大、林、表、加、入、の、二、式、之、様、
 形、一、世、の、電、報、の、折、回、表、内、一、表、通、知、に、加、
 入、の、折、回、表、に、了

高野瑞吹中又旅行中、文、修、の、Institut für
 Seeverkehr u. Weltwirtschaft, 北、京、清、華、大、学、
 北、京、Government Bureau of Economic Infor-
 mation、と、接、物、交、換、之、状、

午、以、四、時、散、會

草、紙、生、成、橋、水、田、二、表、河、上、等、表、海、軍、持
 表、の、大、学、講、演、部、に、お、け、る、講、演、依、頼、の、大、作
 草、紙、の、時、期、ハ、三、月、上、旬、に、改、メ、世、の、時、以、後

22.

題トノ通知スルノ旨

午以五時過退計内迄

夕日記トト認ト十時以計

23. (水) 曇

午前大時止前 往ルヲ購入セリ 親友 高橋類
ヲ整理シ 午以一時 駕沖森川内薩越船四
表、先車ノ七に 世、取板方ノ持手ニツ、)) 行、ス

Maria Engel 同作書ノ車ト行李ニ 送ト往
去ニ 送リ 費、21.2

午以四時過退計内迄

夕過口斗、日記ヲ認ム

去日大毎紙上ニ 所題收 m. g. 全生、費
先書ヲ明以、ハ大朝、之ニ 費

(文) 寄士金ノ費

4.00

五

۸

25.

专题：网络资源平台化、方法、主要方向、

東の空アリ

七時半會，開會，今晨，以敬。

历史上之毒卜史例 m. 6 全集, 校正并诗友
净人史之類 2 月 14 日 報所, 14 日 報所 222

清人史之類：月十四報所，件 瑞田史。元222

佐乳の 子知に才

毒ト史一カ一ニナカハ

(2) Butter = 12)

3.00

五

月

26. (±) 量

片以去氣去殼大丸一付才置物於心 引氣歸腎

(七) 永豐

85.00

五

月

29. (大) 晴

朝 8.17 - 3 位去 駅 大改の乗換 -

9.10 大改乗 特急 = 等 車中 2 回 回 勢
調査 = 定 2 人 書類 中 M.6. 全車内 乗 欠 本 乃至 却 又
文 献 12 品 2 人8.20 東 主 駅 在 4: 電 車 乗 換 上 野 駅 下 車 歩
の 幸 士 院 = 投 入 本 号 并 差 入 込 川 氏 十 時

(2) Butte

1.50

- 寄 延 生 口 設 置 - 2

2.00

7.10.14 田 島 1 号 地

研 究 計 画 方 案 書

2.00

Synthesis of the
M.5 号 -

2.50

五

月

30. (水) 晴

朝 大 時、頃 幸 士 院 3 号 東 主 駅 - 至 リ 倉 庫
の 朝 倉 へ 自 動 車 1 回 リ + 時 子 へ 前 頃 現 在 部
司 令、中 央 規 計 委 員 会 特 別 委 員 会、名 簿 2
十 時 過 可 令 頃 五 号 回 勢 運 送 = 付 寄 課
意 見 2 通、大 片 課 運 送 2 回 併 合 一 回
向 リ 2 回 + 二 時 前 寄 令 倉 庫 3 号 2 回 + 二
時 半、頃 研 究リ、向 同 人 社、立 寄 リ 大 島 君 子 在 口 独
書 院 へ 書 物 2 冊 へ 5 時 二 時 頃 戻 入向 2 号、梯 田 梶 田 大 内 へ 表 来 訪 ^{任 意}
研 究 部 へ 入 リ 通 事 3 件 リ 尚 書 院 側 へ 送 入
一 号 寄 令 2 冊 送 入 七 号、内 表 宛 本、順 号 12
2 号 送 入 一 号 表 上 寄 令 本、七 号 寄 令 本 2 冊
梯 田 君 子 寄 令 2 冊 送 入 七 号 五 時 半、頃 研
究 部二 時 頃 院 山 岸 表 来 訪 寄 令 一 号 表 内 右 手
町 花 子 幸 室、一 号 寄 令 本 2 冊 送 入 七 号 寄 令
西 京 研 究 部 寄 令 一 号 表 内 右 手 寄 令 本 2 冊
十 時 過 頃 研 究 部(2) 田 中 大 -
五 号 寄 令 本

.80

Deutsche Buchh. Int.

.90

下 野 研 究 部

1.70

六

月

2.

7.20 院 倉庫の晩屋に 大時存名、入る

(入)

所望書仕の旅費に 85.00

内宅設計の旅費 138.31

六

月

3. (日) 量

朝云時十分 立寄駅 寄駅 所 倉庫の 朝屋に
電車、の 七時 車 河上 降 表、の 外 車 中、の 2. 故
近 村 故 車、八時 再 訪、而 否
同 史 文 友 馳 車、の 十 分 全、の、全 生、の、所、
事 件、の、に 記、す、(中) 立 寄 方 向、全 生、同 往、の、
全 生、全 生、の、に 記、す、の、に 記、す、大 阪、の、可、の、
可、の、に 記、す、の、に 記、す、の、に 記、す、の、に 記、す、
カ、の、十 時 過 野、の、

教、の、方、の、に 記、す、の、に 記、す、の、に 記、す、
の、に 記、す、の、に 記、す、の、に 記、す、

六

17

4. (17) *Ref*

上 此の 7月1日、休 曜 日 午後 大 阪、3時 分 展
示 9時 半 閉 幕

(六) 東京旅行費計

68.65

六

14

5. (大) 晴

午前大寺丰通 吉野 勤務処理
午後一時所長命令 森下 細川 大林 乙 吉野 等
久留間 表病者 欠席：—
全席，以 高野 森下 上座，以 川 既過 報告
河上 丸 村 岡 又 半休，以 報告 乙 時 報告
森川 丸 川 高野 岡 賢 秋 之 室 又 乙 欠席
森下 丸 川 休職 退職 秋 之 先 丹 室 乙 欠席
四時半，頃 全國農民組合，淺沼 瑞 次郎 氏
前川 正 一 丸 主 訪 今 岡 本 組 合 宛 向 成 一 秋 之
資料 乙 保管 又 乙 要 大 方 依頼 則 便宜 乙 計 心 乙
局 差 乙 且 岡 組 合 本 部 へ，寄 附 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
五時退 務 乙 川 本 史 一 百 岡 假 拂 組 乙
向 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
乙 上 座 中，特 乙 乙 乙 乙

(五) 書物代支拂

3.14

大改二働半校

10.00

五月分 47

10. 544

10.00

五月分、

左列(第1)項に
主として

10.00

第215

六

月

6. (水) 晴

快口 右支 通口来、日記、認メ又 Marx-Gayle 著作
所蔵書を整理ス

(主) 中り 大月分月計

5.00

高井先生書指

記念、今ナリ

5.00

横田恒三助史

節、勉、金

5.00

乙種、島村丸、番号

以、横、今、ナリ

5.00

指、方

五月分

10.00

十世の利、主、二月号

.50

改送、二月号

.50

六

月

7. (木) 晴

午前大時中、本所、執務、処、并

書陣、巡、見、改、計、高、重、一、見、一

午後一時、事務、打、合、会、改、智、鷹、津、森、川、内、藤
以、薩、鉄、原、監、始、丸、之、節、森、下、丸、之、勤、一

始、種、報、告、ナリ

此、一、事務、先、方、而、改、垂、完、成、付、遠、慮、ナリ、意、見、ナリ

之、一、又、今、及、森、下、丸、之、意、見、改、セ、ナリ、以、ナリ

二時、散、会、第、二、の、監、改、智、鉄、原、之、丸、の、今、留

原、稿、此、之、ナリ、又、ナリ、ナリ、ナリ

二時、中、改、并、護、士、横、田、品、尾、史、本、所、先、の、七、野
用、蔵、史、の、依、頼、一、鑑、査、件、依、頼、の、單、張、二、張

取、リ、社、会、の、頭、の、見、方、最、近、独、逸、に、ナリ、計、分

計、の、一、時、支、ナリ

午後三時、退、退、計、ナリ、以、帰、之、ナリ

(主) Vanishing cream

1.35

Honey

1.20

Butter

1.50

8. (金) 晴

先日の在米 新米処分

Engels, die deutsche Bauernkrieg 読了

(土) ツタンテ

国民書局社一

河上望平論

不田舎

2.45

4.18

.20

9. (土) 晴

午前八時半過ぎ 出所 可成り暖か

十一時半過ぎ 大段の大雨 自由通商協会事務所へ入り 午後一時より役員会開かれ 諸事項の討議あり 一時散会 已概一ラ一ノ買物の五時半迄

お茶飲みの茶会あり 夕方 医師一連一行の送別会あり

夕エーケルズ 独逸農民戦争 松岡二十世紀に読了

(土) 大段の大雨	30.00
協会一書付	
Berlin 本	1.90
Krawatte	1.20

六 月

10. (日) 晴

午前+世、復明+1. 内口

午後+世+世 = 芦屋へ行く + 久留間在及友人

、新下見所 = 苗字+1. 帰元

1) 姓+世に戦争、世へ

六 月

11. (日) 晴

= 世に在る 戦争、世へ又 Vnuair 及

11. 7. 近路、分、見 明日、世、半、世へ

世へ病、世に世へ、世へ、世へ

(女) 芳花 幸子方	3.30
世へ世へ世へ	3.00

19.

余の、所と元と所所流所と、宜候と建一書面
・之翻訳許可、交渉ヲ又ト与テス

時 = 森下氏の年 = 死の人社年 = 電報の送
 った R 氏の送電の電送より 2 年 5 月 21 日
 へ 1 週間 = 森下氏の年 = R 氏の電報の送

Welche Marxengels Aufgabe unterstützen und bearbeiten Sie telegraphisch und Sekretariat
Djavanov, 1771 1772 1773 1774 1775 1776 1777 1778 1779 1780 1781 1782 1783 1784 1785 1786 1787 1788 1789 1790 1791 1792 1793 1794 1795 1796 1797 1798 1799 1800 1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821 1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842 1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863 1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884 1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894 1895 1896 1897 1898 1899 1900 1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100 2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121 2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142 2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163 2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184 2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194 2195 2196 2197 2198 2199 2200 2201 2202 2203 2204 2205 2206 2207 2208 2209 2210 2211 2212 2213 2214 2215 2216 2217 2218 2219 2220 2221 2222 2223 2224 2225 2226 2227 2228 2229 2230 2231 2232 2233 2234 2235 2236 2237 2238 2239 2240 2241 2242 2243 2244 2245 2246 2247 2248 2249 2250 2251 2252 2253 2254 2255 2256 2257 2258 2259 2260 2261 2262 2263 2264 2265 2266 2267 2268 2269 2270 2271 2272 2273 2274 2275 2276 2277 2278 2279 2280 2281 2282 2283 2284 2285 2286 2287 2288 2289 2290 2291 2292 2293 2294 2295 2296 2297 2298 2299 2300 2301 2302 2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309 2310 2311 2312 2313 2314 2315 2316 2317 2318 2319 2320 2321 2322 2323 2324 2325 2326 2327 2328 2329 2330 2331 2332 2333 2334 2335 2336 2337 2338 2339 2340 2341 2342 2343 2344 2345 2346 2347 2348 2349 2350 2351 2352 2353 2354 2355 2356 2357 2358 2359 2360 2361 2362 2363 2364 2365 2366 2367 2368 2369 2370 2371 2372 2373 2374 2375 2376 2377 2378 2379 2380 2381 2382 2383 2384 2385 2386 2387 2388 2389 2390 2391 2392 2393 2394 2395 2396 2397 2398 2399 2400 2401 2402 2403 2404 2405 2406 2407 2408 2409 2410 2411 2412 2413 2414 2415 2416 2417 2418 2419 2420 2421 2422 2423 2424 2425 2426 2427 2428 2429 2430 2431 2432 2433 2434 2435 2436 2437 2438 2439 2440 2441 2442 2443 2444 2445 2446 2447 2448 2449 2450 2451 2452 2453 2454 2455 2456 2457 2458 2459 2460 2461 2462 2463 2464 2465 2466 2467 2468 2469 2470 2471 2472 2473 2474 2475 2476 2477 2478 2479 2480 2481 2482 2483 2484 2485 2486 2487 2488 2489 2490 2491 2492 2493 2494 2495 2496 2497 2498 2499 2500 2501 2502 2503 2504 2505 2506 2507 2508 2509 2510 2511 2512 2513 2514 2515 2516 2517 2518 2519 2520 2521 2522 2523 2524 2525 2526 2527 2528 2529 2530 2531 2532 2533 2534 2535 2536 2537 2538 2539 2540 2541 2542 2543 2544 2545 2546 2547 2548 2549 2550 2551 2552 2553 2554 2555 2556 2557 2558 2559 2560 2561 2562 2563 2564 2565 2566 2567 2568 2569 2570 2571 2572 2573 2574 2575 2576 2577 2578 2579 2580 2581 2582 2583 2584

書法(四), 恩帝(七) 全等四人均讀, 上

Ru - " Ohara Institut als solches auch
ich als Direktor desselben unterstützen und
bearbeiten nicht Kaizo Ausgabe, sondern
Renmi (Alliati) Ausgabe. Brief folgt
Takano 上田寛 20.2.12

世の所望則ち知れずや：完電ス

乃于午以五時、頃以文章、辭、金、松田丸、
 向仲、中野、至、向東、訪、友人、而、向、父、
 承、知、品、向、庄、而、庄、午、時、

観望のとき、 θ 角を測る。

内人社一電報承田史一見改一、電報・事實
有、代・幸也一送一知れりか之、利用心

19.

4月、その場にいる所を所望の支持に全
編車庫に、一人トビの編車庫の現方と、旨の現
ハヤウ位迄、エー、特旨の依頼ス又、年士度一
Portugal 4711 入り、+ 箱の改じ、お故、フー、先=
新入社、+ 屯、年士度、山、田、丸、一、現、エー、特
旨の依頼ス

23 7 1-時 11 23

六月

20. (12) 量

20. (水) 量
午前八時迄 幸土境、古ノ金沢表 - Portugal
一航、2回

Auto 以東立駅へ行、棒田大島荒波に在る
屋敷大島夫の所へ所盟し、誓ひ書り交ふ
向島荒波夫へ此より夫へ電話にオハナを語り

079 9.30 車²京頤院

大分校の休養室に四時半に下車
し、箱根萬葉一行へ入る。後、山見一向

— 12 —

21. (木) 量 兩

期算量，七一四斤， 10.05 公斤，乘 2
45 斤， 45 斤

7 8.00 大改厥翁 乘控- 吊气

(入)

设计费叫旅费	108.30
--------	--------

(六) 重立行旅費計 59.25

六 月

22 (金) 曇

此の在る SPD 年報 12 巻の講演準備中

(土) 佐々木政
支那一ヶ月

12.65

六 月

23 (土) 晴 暑

午前在る所へ出勤、電報 講演草案
作成

午後 0.29、急車の上段 一時過午後士令
館へ行く 午後一時四十分の約二時向「社会
問題」の観望最近、極端に「社会」講演を
聴く、及び「社会」の講演を聴く、聴く

午後不在中大島丸の、電報の、二十三日
コラエの、午後、講演の、以後、連日

大島丸の、社会、契約書、契約書

西宮税務署の、本年計得、4,180、上、上、上、
通知

(土) Butler

1.50

24. (日) 雨

午前+支、復習+ト、費+ス

十一時半、坂へ改修本部来訪 明日中央台
令堂へ講演会、午、出、此早此の、電報ト
リクル記+レトニ河上大山=丸=長支 所中止セ
ハ旨記アリ 地、傍=サハ、尚改+ラ接合スル
ト 十二時半、坂 森戸来訪、心、辞去ル。

午以 過、来、日記ヲ認、又 Ryazanov 氏
来、可成、草稿ヲ認+始ル

25. (月) 曇

二 坂の古文書整理

Ryazanov 氏、文章ヲ認、事ト相談訂正
十一時半稿

26. (火) 雨

朝二時向計リ費々 Ryazan へ、可成り遅く
車3短心 神戸郵便局より書留の差込

今夕之装束上京明日、中央統計委員令特別委員
会へ出席、心地の悪い役行へ、宗健連へ、
不安の又他、仕事アリ病欠に、夕暮の折現任費
金几下生使費金、電報了

午前十時出所

午以一時所定委員令森戸久留向大井田川、
四束之幣 現へ報告 二時散会 友人金里氏
又二時相談、午後五時半退所、夕辰雨云

午以中央戦費報告計、塩路樹右氏来訪
来月来全曜講演の心、大伴軍機明日現
光ス、云々

大島史 Ryazan 氏へ二封の紙を報告した

(入)

所定計り

450.00

27. (水) 曇

朝の古気 友人金里氏訳中 Klassen-
Kämpfe in Frankreich? 又昨々中へ送つて

午以二時過り方費、所生小又大田杉山
河野氏等、諸君打連へ来訪 二時方費へ、加入
願起る勸より、午以所定計り、両立策、
所費サハハト云、又矢作(河野)氏へ、是向
二時方費の心、云々、夫、向後、所費スル
二時四時半、頃 辞去

中央統計委員令特別委員令土曜(小)等
、旨電報列之幣、而通知了

(出) 車一

50.00

位料未付已費

4.00

所定

85.00

六 月

30.

地方から利用したところ、今年より謝絶
 又他に編輯費は、(名)此の延期の廣く、
 且他に主任は、此の早送りの増え、
 以て主任は、此の早送りの増え、
 以上、主任は、此の早送りの増え、
 以上、主任は、此の早送りの増え、

今より早く、此の早送りの増え、
 以上、主任は、此の早送りの増え、
 以上、主任は、此の早送りの増え、
 以上、主任は、此の早送りの増え、

(入)

設計士の旅費 108.30

(出) 二ヶ月分合計 115.45

地上 10.00

信託 2.75
 2.12 9.87

研究計費 1.80

七 月

1. (1) 晴

朝 7:00 起床 -> 朝 8:00 起床 (5回)
 午前 11:00 午前 12:00 午前 13:00 午前 14:00
 午後 15:00 午後 16:00 午後 17:00 午後 18:00

9.30 夜 就寝 + 散見

7 8.20 大改訂 乗替田宅

(入)

全生利計費 20.00

14

—

楊田史 梳田史 大内史 等：所盟一大，竟無通知

5-4, 25

27

11

午以五時車過訛河野盡夷坦板夾口仲空
 薛一行半日風又 口乃竟，止於 上即至人全半之
 竟見之換 江戶卒：「更一酌心十時過分法歸矣

5.00

2, 20

1.6a

1.50

15.00

七

月

4. (水) 晴

午前神戶へ行き、元町通りへ、古来夏服の店へ、
近頃の天気

午後上段、河部野斎亭へ、佐村へ、一丸、
先別式、名刺、古く、焚香、所へ、天気

境内、保之助、史、古く、所、盟、例、史、史、
史、史、史、史、史、史、史、史、史、史、
史、史、史、史、史、史、史、史、史、史、

(水) 夏洋服	上服 10.00
リボン	7.00
リボン	10.00
リボン	10.00
リボン	5.52
リボン	1.30
リボン	1.80
リボン	1.00
リボン	2.20

七

月

5. (木) 晴

午前一時、古く

午後、リボン、リボン

午後一時、事務、リボン、リボン、
内藤、内藤、内藤、内藤、
リボン、リボン、リボン、リボン、

午後、リボン、リボン、
リボン、リボン、リボン、リボン、
リボン、リボン、リボン、リボン、

午後、リボン、リボン、
リボン、リボン、リボン、リボン、

午後、リボン、リボン、
リボン、リボン、リボン、リボン、

(木) 社務所	10.00
社務所	10.00
社務所	1.00

x

人

6. (金) 晴

二 晚日在气讲读毕付

7层以上设七时位漂桥向，中央战警
部所-行，七时到九时之间=时向 社会
问题可款外最近，独立-款，讲读之
既，以内容之

(女) 平野 通子 ~
工 4 基 礼

5.00

x

四

$$7. (\pm) \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

† 午前大時 去可

鷹津細川被智に在、所内へ書字仕事、從事
事へて、其女子、室に在るは、其加行

宣會以恩可田衣 讀讀華分

4月4日、河野山久義、
訪、全生会同、改定、
今、上、東、
中、
河野、
今、
明日、

夕倉以古き神戸下山手通 基智 敬青
今月款 - 1/1 向由大平講堂 - 7.50 21 9.50
22 賢者主義時代 人の問題 - 討論 廣
此73冊了

(女) 平野 通子 ~
工 4 基 礼

5.00

8. (日) 晴

午前九時柳原氏一君來訪 過般來訪、
主与う改ナリ述シ 且大厚氏、而徒、口取
打合ニ此ト云ル 前若、此ハ為處ニナリナ
中ニムツカニルニ又曰人ニ暫ク尚、家
カズ ト、大厚氏、七月二十五日、頃而
合ニト云一ナリ 十時過驛去ナリ

午以四時、頃以名來訪 合同談ニ就テ
余ハ積極的ニ力セ 自分ニテ模範ニ見ル
上ニハハハハハハ 余ハ上ニ、ニ探子ヲ打
知ラズニシテ 事時向午ニ去ナリ

9. (月) 晴

午前九時過古西

細川氏ハ書早仕事、女子連、八時、時迄ナリ
十一時、所或是令 森下久留向細川大村、四
更止時 種ハ報告 十二時過散會 明日ナ生
上車、ハ僅上ケ 去ナリナリ

皇辰以森下氏、合同談ナリ 又ト云ニナリ
市川氏、東京ハ電報ナリ *By telegram* 電報尚、
不明ナル飯ヲ食テ 且明日ナ生 上車、ハ一ナリナ
知ラズ

午以四時過西田氏

夕辰以之迄 7.41 位ニ就テ

9.30 大段臥院 向ナリ 拜合、ナリ
頗ル美器ヲラナリ

10. (火) 晴

午前 9.10 東京駅 到着 荷物、一時預けに

歩いた 内閣 - 至 - 九時半 まで 歩いた

十時迄 中央統計委員会、夜間特別委員会、その他
委員会 - 二 - 修正委員会 等に 希望 - 十時迄
まで

夕方 - 二時迄 東京駅 到着 歩いた 土曜日の便
を 利用した 全日通、向う通に

折込郵便、郵便 芝田町、二 - 行 - 至、
郵便、向う - Portugal - 取 - 留 - 午後二
時、夜間

向う - 行 - 大島、折込中 (今朝 東京駅
の 星島 - 即ち 東京駅 - 向う 大島、全、
折込 向う - 向う) 堀田 堀田 大内、向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

Ryazan の 電報 向う、向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

10.

堀田 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う

(入)

中央統計委員会 108.20
向う 65.00

(出) 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う 向う
Portugal - 向う 4.70
Rutty 1.50

七

月

11. (水) 晴

＝ 朝立時迄起床 朝食の后に以 萬全の事
Auto へ乗り 十田車 + 主街、成野氏、河内史、湯中
：27 = 十分計り 散歩に 再び Auto へ 十田車 駅へ行
く 駅前へ行く

10.25 十田車

10.56 明神寺の急行 - 乗替2

大黒江社へ入る (この日)

11.8.20 土曜 乗替 - 明神寺へ 大時車、順ナリ

萬全 6.10
(土) 3.87 計
47 1.00

Auto 5.00
1.00 計

其他車費計 63.46

七

月

12. (土) 晴

午前大時車 右所 郵便局へ

天王寺署、十田車 大黒江社へ 西の里、21.11

ハ 成野氏 - 十田車 駅へ

急行 以 迅所 明神寺 郵便局

11.6.06 11 明神寺へ 入る 明神寺 支那へ

十田車 由 大時車、明神寺 へ 入る 明神寺 支那へ
急行 本町 郵便局 へ 急行 明神寺 へ 8.45 11.10.
20, 明神寺 急行 支那 時代、人の問題 へ 急行
急行

所 十田車 - 大時車 - 又 迅所 急行 大時車、
明神寺 へ 入る 明神寺 へ 迅所

大黒江 - 電報 27 11 11, マジカス

27

三、此日新務必爭前光

409.50 (E) Weni

2. 20

14

午前十時半左右 劉君處所

命履、大朝大正 9 次、

午以二時，頃心又義在鳥史東方未午方面
 之說右則一又史收右則一又合句，合句+1 句之說
 此 半句向計，之碎考

午後四時、河上肇 花井部文雄杉田均一
津本重吉、金生國徑為金生、後北沢、
宮川、奥田村、奥田支子矢、森戸大井、河上、
加納、山、新渡戸、後、金生、山、山、
、電報、國、山、金生、河上、後、
河上、山、後、山、山、山、山、山、
山、山、山、山、山、山、山、

七時半 散会 細川史太郎氏挨拶 五人の中村
：所々分館に十時分決 閉会了

河上英の著大英事録 - Marx & Engels
著論を一巡す。便利。且、可読。又、早愛、極。
21 (休校日)

15. (日) 晴

午前車及十世の人と共、位在海岸にて

小石をカートに借り、一時向計り遊ぶ

午以後は就寝、午後

16. (月) 晴

昨日の在る書類を整理し、先日来、日記を記入

午以後は、咬久留向丸を計、今日の所へ到着

Ryazanov 氏、手紙の持参

向東の門に、垂小井氏、田んぼに立寄、丸を計

来月即ち、播演の依頼から卒業

大島秀雄氏へ電報「リ氏、手紙着、要回文、

七

月

17. (水) 晴

午前大晴、過立所

郵便局へ

午後 市役所へ通交、通次、立寄、八、手時
向計りて

午後 市役所の辰堂 = 芝居の施心、故高田
恒吉史一、園今通、博今、佐、又、主、今、右、ハ、既、是
ヲ、た、え、の、五、十、名、全、是、ハ、接、柄、の、通、一、次、ハ、ハ
濱、名、前、如、野、林、京、田、治、氏、進、使、使、の、高
田、幸、七、人、其、礼、評、幸、人、史、向、今、評、ヲ、以、テ
五、時、半、迄、ハ、ス

ソ、の、高、田、幸、七、人、久、鷹、陣、史、ハ、月、堂、一、把、ヲ
月、辰、方、決、定、ス

(土) 月 辰

13.50

七

月

18. (水) 雨

午前 9.25 - 市神戸へ行、大至土 - 買物、ハ、ニ
ニ、買、取、ハ、市、役、所、へ、通、交、市、役、所、ハ、又、返、リ、Portugal
ニ、取、り、廻、リ、向、テ、ス

既、口、迄、ハ、書、類、雜、記、類、ヲ、整、理、ス

大、内、五、法、史、の、研、究、所、へ、寄、附、書、ハ、向、テ、
既、半、ル、全、生、ハ、市、役、所、側、ハ、編、輯、則、ハ、向、テ、
立、テ、苦、境、ニ、陥、リ、又、ハ、ウ、カ、国、ハ、事、ナ、リ

(土) Portugal = 取	4.60
市役所へ通交 - 取	2.30
Portugal	1.50
Butter	

七

月

20. (金) 兩

午前九時、頃久留間在車中相談、曉軍大内
大臣向事情聴取、 11 時迄有計畫、 12 時車中
相談、 13 時決之、 14 時大荒川、 15 時發、 16 時
金一、 17 時

丹波薛志丸 益礼りし主り

万俔令金盟，厚稿、整理又

(五) 丹波丸~食心付 5.00

七

۸۷

21. (±) 量

午前十時之可

我智以障豈获平，咄咄！今虎温平瑞一付

折念二

5월 21. 4월 21.

[illegible]

ゆり 安んじたまひなり といふエピソードを

1. 4, 2

(土) 土俵の石一箇一付 5.00

七

月

22. (日) 量

午以一向所連(海小(2)所)

張(2)の算

(出) 事一

50.00

Wm

2.20

七

月

23. (月) 量

在気亭鑑厚稿(2)入

午以之気四時半大改方働主校以司令、
以改方令以改方所要之気、之等如川(4)名
改方林以改方字在野、始末之等日=同(4)月
の生方の所要(2)に之(2)ナリ(4)名
我回餘美、杜所、之改方、之(2)に在の
依此(2)に改方、三時(4)分

此生(4)名(2)に之(2)に在(4)分、之(2)
の物(4)分(2) = 十分計、(4)分(2)に

(出) 佐老(2)改方
(2)月(4)分(2)に

30.40

七

月

24. (大) 晴

午前十時出勤

午前十一時出勤 一書書きの末

午後一時出勤 森戸川の大木、此の節
久留向史工事中欠席。

法種報告 本朝久留向史の、無事終了、い
報告 報告

二等故令就読并、森戸史の報告、相読、受

午後五時退社

(一)

研究費

450.00

(二) 印刷費

三冊分

5.70

四一冊の印刷費
無償社計中印刷費
二月分

.85

5.00

七

月

25. (水) 晴

午前八時出勤 原稿の読

午後一時出勤 海水浴

夕七時久留向史帰校 森戸史の、大
内柳田=史野遊覧、而令、経過并=

大内史野遊覧の暫し思ひ止まり 柳田久留向

=史=預けたり、題本の読読 就読九時

半時分

(一) 紙代

4.50

13.00

1.50

紙代
第一冊

46.13

紙袋

2.50

七

月

26. (木) 晴

午前九時 出所

森川及薩摩翁邸中、右丸ト事務上ニシテ

ハシ 候旨ス

山名義鶴史来訪 会向談中入りかゝり

東車ノナリ 由ナレバ

午後四時 奉ニ即来出所 新候ニ時 切替

ハシ 退所 梅田行迄、カエー、バリエー、候ニ

四時迄 大坂 願ハシ 分使 出所ス

(女) 永 定 85.00

口 子 科 中 神 町 10.00

口 子 科 中 神 町 10.00

七

月

27. (金) 晴

午前九時 鑑 厚 稿 以ニ

午後四時 過 上 段 買物ナリ 夕 展 心 切 矣

(女) 口 子 科 中 神 町 7.50

17

二 午前十時過去所

素子丸、山岡丸等が、付加税 賦納の月及び
五月に於て、勤労者に付、世に於ては、月給
が増し、且恩恵を有するなり。勤労者に付、五月
増し、世に於ては、五月に於ては、合計二百三十万
の中、其の支分、其の支分、其の支分、其の支分、
其の支分、其の支分、其の支分、其の支分、
又久留米、佐賀、大宰府、小倉等の地方に於ては、
田圃、山林、所領の支分、其の支分、其の支分、
其の支分、其の支分、其の支分、其の支分、

河上第几，望本端初校若章久时，
河上第几，望本端初校若章久时，
河上第几，望本端初校若章久时，
河上第几，望本端初校若章久时，
河上第几，望本端初校若章久时，

+

१२

28.

研究點：今日限7-12之間向，器中休明文、入心

(出) 產 入 七 月 分	10.00
江 經 研 究 計 七 月 分	10.00
即「 <u>設備增加費</u> 」	4.27
其 他 附 屬 一 部 分	1.30
又 務 分 担	
所 有 可 能 費	2.40

十

१५

29. (10) 晴

[illegible]

市原氏一郎氏の市原氏上、今又の〇月
十日に指定に事出で此の如く、都合上五支一
旦一月中旬の下旬、乃ち旅行に赴き、十四
日の初九日上旬、南へ行く等之才、此れを

($\frac{1}{2}$) Weni

2. 28

x

۱۶

30. (17) 晴

30. (14) 晴
左宅午鑑原稿，欠心

大内正法、一辞竟撤回、知了此一过程
表及理由、来而了射入这点了

(中) イマフ 芳 香 いわ

.45

17

= 前大時書所 4 經厚稿次又據新稿
原案以薛，姑吏的原稿次可也

日前，大坂市主事松村義太郎氏来访，说明
原因调查，决定对管内町款入进行一季
向计，费用

本「岩波市」ニ在リ、朝鮮來ニ方、与電報アリ
又瑞田大内市「ニ在リ、所過ニ付相談、タ
ハ朝鮮ノ事ヲニホ電報アリ

本日の所々 Ryazanov 氏より、手紙と手紙を

(六) 折旧费	130.23
母上—	10.00
亭子生命	2.12

、

17

1. (2K) 2.5

午前八時、定光波市川二丸半所留
吸流行ニ付資金、高土通端カヲ心解作ニ決
意セリ、以テ解流カヨ申述セリ、全ハ輕
ク決セリ、不可ノ説ヲ今一説、為意ノ役カ

カルヤニ 掃田大内ニ 丸ノ 毒ヲ 丸ヲ オハニ 三君
 初場ニシテ 一年ニ 毒ヲ 今 毒ヲ 丸ノ 毒ヲ オハニ 三君
 カルヤニ 丸ノ オハニ

同地より相違 世に世に五一と書きたる
 二つに かつ 光武市川二丸の 堂屋の午の
 二時半頃 辞去 川河上 船丸の 訪て 寺の 帰
 座、装ナリ

設=四人にテ語り合、後向所盟解作
及の人社又希望國の光武氏、及後、下
事並に建ち、後ミアナラナマツル、能月
所及計トシテ、所盟化斗、後ヲカハカ又
所盟崩壊スルヲヲリカニキ、其一ノ選
、外ナシ、幸ニ近ニ森戸丸島記ニ行カ
、極ナシ、今ヲ代、表ニ書計則、意向ニ
又諸君トモ相談ニ機宜、処置ニ又計
、此カヲミルニ六時過譯去ル

2. (本) 晴

= 在気午鑑原稿より

予示事十二世より海水流す

(2) Butter

Honey

1.50

2.40

3. (金) 曇

= 既口左定今鑑原稿より

午以五時、頃森戸東来訪 全坐、付話、合つ
全、候、旨、確、り、ナル、西、手、り、リ、外、ナ、ル
べ、し、意、見、く、改、め、此、合、所、盟、(24)、後、以、意、
向、り、中、指、回、丸、輝、意、翻、テ、ナル、之、付、西、
意、志、く、改、め、此、以、以、編、筆、主、に、議、く、確、り、
所、盟、一、時、ナル、迄、く、取、り、森、戸、東、上、座、
上、大、作、模、様、の、全、上、座、ス、リ、又、森、戸、東、
回、り、ナ、リ、通、直、此、等、セ、ル、ト、ス

七時、頃 指、回、丸、来、訪 大、内、東、此、口、回、車
カ、指、回、丸、本、口、細、川、東、ト、合、談、カ、細、川、東、
詳、解、く、得、回、丸、之、西、カ、手、り、リ、賛、成、ナル、旨、
述、ル、種、口、談、合、り、后、以、大、時、事、頃、一、丸、
輝、去、カ、指、回、丸、本、口、重、都、一、時、明、口、回、
上、丸、之、付、口、回、車、カ、森、戸、東、明、朝、中、候、
鶴、江、渡、辺、氏、元、一、ト、ナル、云

4. (土) 雨

二 午前十時七雨笠以薩萩原、殆丸のり可
 鑑原稿より文面より大黒を揃へたり

五鑑作草 鑑方、タノ越智以薩笠萩原、
 四史考、凡そこれ内薩萩より伴に午頃一時過
 去雨、傘持、行い食事、其大、願込、原に
 台畔の敷合

而、三駕申丸の山田丸、病い方へ模
 振う間、

(土) 五鑑鑑方 29.50

5. (日) 曇

二 午前 研交計一行、昨口志一丸眼鏡、
 西リ斗ル

午頃一時半 食敷のりよ、七、七、下サ
 伴に車方 眠カトナ

8. (水) 量

今般原稿より又證後等分り

今以五時四十分、今車より往來、今一舞子より

四時五十分、今車より往來、今一舞子より

七時四十分、今車より往來、今一舞子より

問題、今證後等分り

今以五時四十分、今車より往來

9. (木) 量

今以一口打連、今一故等、今一舞子より

今以一口打連、今一故等、今一舞子より

八 月

12. (同) 晴

== 午は一向に水は、行方外左に今も

原稿に

八 月

13. (月) 晴

== 午は一向に水は、行方外左に今も

原稿に

八

月

16. (木) 晴

二 昨日左之 午屋原稿、久し才に部、既し

八

月

17. (金) 晴

二 昨日午屋原稿、久し才五部、既し、
大島丸、才に部、午稿、既し、

大島丸、才に部、午稿、既し、
(書) 裁制、初、完

2.06

八

月

18. (土) 雨

= 晚日可鑑原稿より 第三部及時篇より

第四部社会事変より

Ryazanov 氏 - 可鑑より 全巻、其の厚意を
 謝し、又 Mandelstam 可鑑二通 Eleanor Marx
 可鑑四通、早返致す、返りし

(土) Weni

2.20

八

月

19. (日) 雨

朝八時過、八坂坂左即ち車坊 一時向計
 の時又十一時、坂大島秀雄氏車坊 宜食、
 支二片以四時時支、支：所盟所作、外
 十又河内にて建徳の支支、以て相族、
 米にこれに 全巻各處、上近の上豆等事
 相族支支二心ト答へたり

可鑑原稿より

20. (月) 曇

昨日午前臨時に全島の人(院)に
 備忘書を送り、計に 厚稿、^{明治} 人社、一院送
 本島、依頼に Ryogamu 氏、手紙に Vauvau
 及 R.F. 氏に、お詫、送るに

(出) Vauvau 氏へ	
m. 26.35	14.01
R.F. 氏へ	
m. 14.40	7.65
全島(世へ)	
現金	1.75
Bulle	1.50

21. (火) 晴

今朝 原田君が来り、授け、数日未だ腹が痛く
 此頃 瑞方医師の診に、加藤中、一回、送る来り、
 たり

午前大時過ぎ、全島、所、授け、瑞方、
 事務上、送る、又、原田君へ、送る、
 整理、送る、瑞方、
 瑞方、
 瑞方、
 瑞方、

河上、瑞方、
 瑞方、
 瑞方、

瑞方、
 瑞方、
 瑞方、
 瑞方、
 瑞方、
 瑞方、

(入) 瑞方 450.00 (出) 瑞方 50.00

22. (水) 晴

昨日来病、雨に起り、水に自由、刻刻上
 車に乗る、昨日、雨に起り、水に自由、刻刻上
 迄、雨に起り、水に自由、刻刻上
 雨に起り、水に自由、刻刻上

在田中、雨に起り、水に自由、刻刻上
 雨に起り、水に自由、刻刻上

午に五時、雨に起り、水に自由、刻刻上
 雨に起り、水に自由、刻刻上

午に五時、雨に起り、水に自由、刻刻上
 雨に起り、水に自由、刻刻上

(出) 毎食後 4.50
 雨に起り、水に自由、刻刻上 2.25

23. (木) 晴

午前、雨に起り、水に自由、刻刻上
 午前、雨に起り、水に自由、刻刻上

午前十一時、雨に起り、水に自由、刻刻上
 午前十一時、雨に起り、水に自由、刻刻上

午前十一時、雨に起り、水に自由、刻刻上
 午前十一時、雨に起り、水に自由、刻刻上

午前十一時、雨に起り、水に自由、刻刻上

八

月

24. (金) 晴

痛、去32- 既に可川又 9:30 始方区呼?

神心 = 注目、注射、受)

八

月

25. (土) 晴

痛、去分可川、以 身体、依美不自由 入江

数回 可川、依 暮云

26. (日) 晴

大分端、三取、以、而、自由、利、カ、可、以、に、計、力、カ
難、い、と、思、ふ

神戸、聖、智、教、育、会、主、任、の、大、夫、の、講、義、に、
持、続、し、て、聞、く、と、思、ふ

大、學、院、に、即、ち、の、手、紙、所、の、東、京、の、地、理、院、
の、此、の、期、に、来、て、十、日、の、間、之、に、全、て、の、計、
中、の、行、方、を、知、る、に、此、に、二、十、二、日、東、京、院、の、病、方、
の、下、に、能、く、十、日、下、の、病、方、に、一、日、の、先、に、
二、日、の、間、に、四、山、の、時、刻、に、改、メ、通、知、し、て、此、事、
に、

故、舊、舊、中、二、人、一、病、方、の、上、に、東、京、院、の、病、方、
の、一、日、の、先、に、改、メ、通、知、し、て、此、事、に、

大、島、高、院、の、改、メ、改、メ、二、人、一、病、方、の、上、に、東、京、
の、下、に、能、く、十、日、下、の、病、方、に、一、日、の、先、に、

横、田、大、内、寺、戸、横、田、四、人、連、名、の、同、様、の、
中、に、

大、島、社、一、人、一、社、会、同、題、講、義、No. 1) の、今、一、冊、
の、計、に、十、日、の、間、に、此、の、先、に、電、報、料、M. 20.65、の、通、信、料、に、

大、島、社、一、人、一、社、会、同、題、講、義、No. 1) の、今、一、冊、	15.00	(2) Butte	1.50
		亦、一、冊、	85.00

26.

森、人、夫、の、電、報、料、に、社、会、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、同、題、講、義、に、此、の、先、に、一、冊、に、

27. (日) 晴

今、前、山、本、文、房、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、

大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、
の、大、島、社、一、人、一、社、の、同、題、講、義、の、大、島、社、一、人、一、社、

既、に、可、知、

二 大分校の机 今口 休ヲ上テ 端ニ書翰

蘇少民男史の来状、金主主任令令、状以
示、之此軍の部、之来、

半以二時頃久留向細川=吏奉行火番
りたり 幸す吏のりたれり幸と又明以口大
原にりたり幸すりたれり幸と

大原氏一書此。病案快才明。而口行以一
時。而十分便。山新。之。竹。方。已。乙。十。而。通。知。了。

二 本日エフエム・エフエス・エフエー 追々快く

午前田中一郎氏来訪。唯、役所令(自由
通商協定)の経過について又消費税の見直し
通商運動、同様にバットと起算税率の大幅な改
定、税の見直し等、役所令の詳考あり

井上 良一 先生の「労働と技術」(昭和27年)
その内容から、その先生と相読の味、おもしろ
い。

予以驚津解我衣兄舞弄芝衣起草，句
 盤踏玄，原瑞，持弄水

土庫氏の二十日の自筆之書に、夏士に故
病に罹り、未だ、及、一、に、中、に、斗、に、今、迄、書、に
病、治、り、次、才、書、文、の、過、分、一、に、フ、タ、に、村、地、是、の、
今、迄、世、の、中、に、書、文、の、中、に、

30. (木) 雨又曇

午前 10:10

午前 10:10 執筆中 予 監 考 官 へ 校 定

この人 社 一 派 区 之 へ 在 っ ぽ

執筆中

(出) 社 区 一
10:10

10.00

Wen

2.20

31. (金) 晴

午前 10:10 予 監 考 官 へ 校 定

東京 北 外 郵 政 省 へ

午後 10:10 予 監 考 官 へ 校 定

本 日 予 監 考 官 へ 校 定

(出) 10:10 予 監 考 官 へ

145.87

Wen

10.00

経 費 2.12

7.24

1. (土) 晴

=

此の朝霧の処理に又手紙の思ひ込

夕辰以 佐々木院 士政へ行て拜見する

午後 10.10 院 士 40 拜見、入ル

 (土) 佐々木院 士政
 (2 草紙)

Pahigal

田子

10.80

2.30

26.00

2. (日) 晴

=

午前 7.45 沼津着 下車 市中散歩 9.17

院 への竹藪場へ至ル 歌前・田口鼓・投て

後の休養

九

月

3 (月) 曇

立辰後 12.50 発、白動車 = 富士山麓湖巡り
 うさぎ 山中湖畔を過き 志田 = 磐) コーラ乗替へ
 + 厚分 = 河内湖 = 磐)

湖畔、ときわに休憩 午後四時半に前車へ
 白動車 = 乗り 志田 = 乗替へ 4.05 同社発 五時半
 、厚分着 天気曇 霧深し 富士が見えず 所々
 沿ひに清田あり 乗替、代金所安設場 志田向
 1.70 支 志田川向、20 支

九

月

4 (火) 晴

朝 10.5 発、乗合白動車 = ラニヤ峠へ 登り
 花尾峠まで行、下車 釜釜 = 休憩 峠の左側
 を登り 富士の眺め 11.25、乗合 = 乗り 二、四
 = 下車 附近、外人別荘地帯を掘り ミラー
 へ入る、釜より竹殿場へ 降り 町内を散歩し
 午後二時、坂帰宿

煮物、酒、りんご、梨、栗、柿、干し柿

九

月

5. (水) 晴

午頃 田中敏、柳川清二 (高村四四) 中原
一田五十敏) 1.56 完、京車の片増増の古つ
軍中 東京統計協会、懸賞論文を見たり

4.32 東京歌謡古くは Auto の配り手と受
、得意一入

夕屋の山下一軒と清二の帰院、以て大島秀雄
と及山本史、電話二明日来訪の来り

九

月

6. (木) 晴

午前九時、頃大島秀雄史来訪 改造社経済
学会生中、社会統計論一班執筆の意見の求
且何の改造社の賠償の、その要求の意見の
南の、大島史、要議の如く他の常行本に古く
その増益の人の社、都合の如くはたして、是
員たり 其、他の人の社、たしてはたして、是
評去り

午頃一時山下史秀史来訪 執筆、筆談ト
人の社、希望の生中、その如く山下史、筆談南
原稿料、前借の如くはたして資料書四題、購入
の如く若干、融通の如くはたして、その如く
折回史、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その
史、その如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その
、其評去り

午頃二時、頃大島秀雄史来訪 今、所定所
の如く、最近大島史と意見、筆談の如く、その
方針と、その如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その
の如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その
の如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その
の如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その

就談中二時、頃大島秀雄史来訪の文章が
過の如く、筆談の如く、筆談 = depend の如く、その

17

ト主)張ル旨述ル 全ハモヤ 大山河工ニ在
 一方の相読ヲ持テカクニサレハ不可ナル旨ヲ述
 テニミレハ 本の大ナキニ事ハ大ナキヲ述テ討
 大ナキヲ述テ 可成ニ事ハ大ナキヲ述テ
 トニカク 大山河工ニ在ルニ事ハ大ナキヲ述テ
 代カス事ハ大ナキヲ述テ 大山河工ニ在ル
 可成ニ事ハ大ナキヲ述テ
 トニカク 大山河工ニ在ルニ事ハ大ナキヲ述テ
 可成ニ事ハ大ナキヲ述テ 大山河工ニ在ル
 トニカク 大山河工ニ在ルニ事ハ大ナキヲ述テ

九

月

7. (全) 時
午前大時, 頃 揃田丸半時 大内丸 三時
外二隻より入り意久し未々 又改造, 万平造
ル一十勸役ニ至知ル 十二時, 頃 辭去ル
正午山崎文彦丸半時 揃田丸ニ至知ル 又
今ニ definitio 執事平造, 尚々告ケ 尚ニナシ
辭去ル

千以二時、頃、梅田徑之町史料方、大内辯
二史い証也ト曰、梅田、上達ヲ、所取所、同ニハ
大原氏一ツクハルシ、暖藏ナ事情ヲ、マコフ
相違スル、可ナル、文ハ、曰方、同徑ハ、禁成、
意向ナリト五時、頃、引去ル

月大島史事訪 大島史のついでに
又堂の道に冬上季の赤い 石電報の
石のつ

8. (土) 晴

朝来同生窓書翰又次ハ大丰院ニ
午以四時出テ己越ハ仙台縣ニ、聖物
社ニ 観セ、統計協会ニ立寄リ 明日午以
臨メ、又ハ平ニテハ報イタ
幸ベシ人ニテハ辰ニ 同人社ニ立寄リ大
寺過帰院ス

9. (日) 晴

朝懸窓書翰又次ハ昨日本院、統計協
会、使ニ依テ

河上肇君此ノ以又堂主人ノ伴ニ来立、
報イテ午前十時神田廣路所ノ又堂ニ行リ、
河上肇君ニ先ニ在リ、大内君等ニ一時吹
太山節夫君来テ
相談、此等先ハ從來通リノ金生院行、計
画、実行ノ段カスル、但シ院行、上達行、無
理ナキハ相方、所感ヲスル 又其ニ從來通
リノ実行セハルハ、本稿却 編輯費手前
ニ請求スルニ止ル

明日午以己時迄ハ又堂先ニ三人ハ
同人社大島ニ在リ、河上ノ計画、実行ノ動ハ
同人社ニテハ同計リ、賠償の費用ノ請求
スルニ止リ、又ハ其ノ休取

四時中、又文修再司等ハ、ハ又堂ニ依テ
先月来ノ来ハ、其ノ完全ニテハ、ハ、ハ、
主ニ又大島君ニ係リ、ハ又堂ニ相談、持
テカキ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
怒鳴リテハ

ハ、前ハ又堂ニ計画、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、

人

17

2.

朝方クナニ 午後五時半散会

全人瑞田丸上艾：田丸人一行才斗食了の
 通の、全、相読、為、日、方、交、入、子、楚、成、
 了、相、讀、了、は、行、田、丸、方、一、七、時、中、停、了、
 八、時、以、文、意、文、子、事、方、佳、ル、に、
 意、文、了、は、入、全、又、先、月、半、相、読、張、半、
 以、文、意、引、了、以、足、做、了、一、下、局、(編輯、
 了、)の、近、明、了、十、時、語、文、

(六) 市川史記解題
西原金

2.00

九

17

10. (19) 晴

朝九時中江文童一行，河上大山嶺田大内，
晴史氣生

大島丸に市川丸(足月元日丰後県中津川に送る市川丸、廻り船)に代る万が一、船隻に欠け、
坂、立つ

以上、今土、代掌、及々代掌に一掌、
 迄下、到底、端、代掌、リ、カ、望、向、以、思、考、
 大、今土、の、切、方、代掌、の、既、知、に、得、知、板、
 同、若、名、の、能、籍、利、と、い、う、意、味、の、主、と、せ、ん、思、考、
 求、め、る、意、味、の、掌、と、い、う

2) 15 2 空 (2) 、 中 : 波 : 体 鉄

午後四時過再會以文堂例，此事則之
付全士再七相識

正瑞の方、保命スルニ、編車筋方
ハ九月十五の方、大掛ツテ、大山丸^{ハミ}
編車筋^解方、二月方、差支スル。女ハ^{ハミ}
十月五の方、大山氏一色ノリ、編車筋^{ハミ}
漢先費王百回ヲ女支スルニ、漢先又ハ方
記章、二ハ世伝載スルニ、孫崎坊、女ニ
柳頭、手帳、丁々ハ同姫スルニ。

以上，城內以文堂父子大泉表一為一送。
以文堂元孫送。

九 月

10.

外に送る = 所望に完全 = 解決 21. 21. 11. 11.
 時 = 午後 5 時

一、河上之童、河上之吏、河上之民、河上之四

ハ つたや、イテ 鳥 ヲ フ ム ヲ 食 ス

八時河上走，病計九宜規畫。行
相族，既早全軍。代一制（す、んけ）のす
最出（又、文評），元以單行本に書れ
他工書校ス、寧ろ此ノ讀考、為ル責
ノ事ニナリ。其ノ記考校定考、為ル
厚稿料約四四同。同人社及希望園）、
最良の、故序を撰付たり。五十四程進、
信用ノ工夫ニナリ。

[illegible]

笑心 = 山本史久「それ佐々破読」
 「それ」が事件の山本史久「破読」之下、快
 楽の社会思想、方、読解「河上克資
 本論」堂に「笑心」交際「佐々」全工
 学誌

大島東本時，吹幸一 荒波一 赴川以時。
十一時 十二時半回來 荒波東不耳鏡，板

九 17

10

ナリ 依リ改選社ハ既ニ理ナクニ大隈同ノ
既ニ 視事一時ニ散令 尤ニ大隈在
帰リ外ニ以 莫波夫ノ電話則 大内在代ナリ
外ニ 四十四日ニテニナリニ意味ナリ 何ニ意
味不明ニ 既ニ後ニ其後ハ

例3 厚人山寿史，自勤史一區一三時早
例2 可也史一明朝功績，管

今の我のソリ原と十五の年、大島丸の
市川丸へ入舞にござる

九

19

11. (大) 晴

11. (大) 晴
二 朝 大島 手帳 丸 来 方 以 又 堂 出 出 寒 2 月 夕
下 泉 + 1 達 3 日 暫 3 日 2 日 評 古 下

リ-リを渡電物うに、午後一時張、矢
車-乗じ上野、張ス

もう程大時仙公、吾より歳次大妻義郎
柳子、律に去るに Auto の 駕に 定行、入
江 読笑 以休 二人、好芝、成人 義郎懐
け可愛に

森戸俊男君、名状、由り、其、事件、所、に、
要、の、場、所、に、上、り、中、心、に、

九

同

12 (14) $\frac{1}{12}$

午前 宇野丸 10 付 義部 1 付 (今更) 附近
散 歩 2

夕 言野虎 1 所食計, 2145 全果, 2145
又全, 身上 = 4 相讀 牙 話 又

九

17

13 (本) 疇

二 予高 予野丸、幸内加 東北大學、行々論文
予部所發註ヲ見 予野丸、意ハ入り、實ニ ~~雄辯~~
丑次郎予長、而談十分計リ 向丸、リ辰、語
ハニ加碎退ニ 又左幸丸ヲ所發註、予
帰途石原丸ニ 夫人、向談ニ 正午退 向丸
リ辰ハ一日折速ニ 市中、去ケ 今士ニ、
士鹿物買入ニ 相付ニ 十時、頃 帰タリ

九

५५

14 (金) 晴

14. (金) 晴
朝 在 原 来 方 以 云 云 以 研 云 云

七時一〇分 Auto 的停車場に立り 7.55 発
列車、乗止：一〇分後別

午收 3.40 = 野歌 秀 土 = 東幸歌 = 77+
全量の 7 月 辰 子 土 辰 卯

۱۷

二 午可入寺、頃之度、先ハ芝堀堀令敷内、
浅利順四郎丸ヲ討、遂ニ命ニ之向カカリテ死、
四方堂本部一行、棚橋ト云丸、之令、暫ク後記
西ニ以テ利丸ヲ討、大改要領令ハ口ト云令ニ
詳也

以下通過大寺部 = 十野田史の計、子左、14種
 所發宣 = 寺野依送史の計、開「表」、男子旅
 費、日大厚氏、近2が依史アリ算端3 無
 費、2が依史同政務調査会設立時急欠計、1
 一時間計、1が算端

世に内務省民政文書部に於て川田大郎君の
 兄弟の川田龍之助電報の依り中野、完二は
 東の才の大政政治経済學會の代表委員として
 講義の依頼と此後時々の打ち合せとに終る
 かの二時、順學院

山本重彰在訪日時，是叫的集，合資的以
也持先的門向江戶譯古也，△

河野孝史来訪期即来立一机以「夏变土」
昭講生名演、依机列單讀 大時過約何了
策一路一行より居心+たのしく 読む+時方分
決り得 河野孝史一、所望按、然来、付読解了
成+た

九

17

16. (四) 晴

午前十一時大内史定行リ、梅田梅田二處ニ
既ニ在リ、今晨、梅田ヲ大内史定ハ外故ナリ
先ノ金庫、經過ニ梅田史定ニ且相談ス
也。略算四十四分ハ大内史定又二三又五十四
方ハ也。名義不判明ナル事、心ニ明カニ
定見以、腹藏メ意見、交換ナク、満意
又トモナシ、何方定同降ハ研究計、方其決
トモ要議ナリ又研究計、才ハ資金カ大半此の
方ナラハ寧ル東主一利ニ自由大半凡ソ、略算
此外カサレト、往アリ
午後三時散會、全ハ銀座ニ去リ、後ノ所ニ
八時四十分

大内史、言野史身上は、桂海亭と、執成方、
依中、イオ

△ 经济系全生：全：社会统计系（依先列）单装
又全列：第四、大内二史：执笔方德化致
之请开此再望装之

۱۲

11

向三才書院 戸城 = 大山新太夫、三才、声明書、

中国、我四川、万、次、部、表、方、七、姓、表、以、以、人

加丁六時過 寺土段より東京駅へ行く指図

7.30, 午車以去 月辰拜公入心

机

14

二

(七) 旅行費

236.50

14

19. (水) 晴
昨日在气 旅行中, 顺利整理了

昨日在气 旅行中，新诗整理入

九

月

20. (本) 晴
午前上段 2人、佐賀銀行無増、支店1行 +
田舎者の支店1行 + 切符、両立万、佐賀に
十一時、頃、午前

午間 上校 吳一任友銀行 無增 支法一行
由 吳 君 的 友 友 以 十 切 可， 而 立 方， 依 此
十一時。 頃 之 可

鷹沖丸 - 明日臨時所収受令可令通知
ヤセニテツタス

士林史の Novel, Charist. Movement
翻訳, 210 枚, 世, 訳, 考, 例, 定, 一, 冊, 12 巻, 2

午頃大森丸 東京へ往く = 矢張り定時
出帆 震うたので

午後已晴近訪 通商協會 並亭 田心八
即表 19 天 之 胃 氣 又

(5)

५३७

450.00

九

月

21. (金)晴

午前七時 先づ、重電にキラルニ "+" 印を印表し討つ

不在 十時也所

一時研文垂氣 森下士林 久向阿明"四
丸也帶。——

关于金生、郑通此行调查报告事以耳闻，

得 子以一時、至り一先下閉令急、以

二時再定研究，此示、全月止、時評述為要次

12 前站の美濃河原に 三、四ヶ所 大塚氏の墓、

陸軍-別表: 現行24-26-2 以下、付テ 世、上

= 7 步 3 主校 21-21-2

カリ王時散令内記2

田中一郎氏と電話。+川師吉平氏、溝口、松
久氏、佐々木 20-21-2

(主)	正 二 季 物	26.00
	植 苗 科	
	四 民 品 物 販 売	4.18
	車 一	50.00
	巾 巾 月 計	5.00

大

17

22 (±) 晴

2.2. (±) 晴
 出口左に可成り、又、竹ノ、統計、1-2

(出) 王一生	6.92
现代文学全集	2.00
甲乙丙丁和四	5.20
吉田	

九

17

23 (10) $10\frac{5}{17}$

23. (10) 晴
午前 上校, 復習 午後 竹下公園へ

卷二

大

२१

24. (月) 晴

24. (月) 晴
午前森下丸井坊 日可交回後、(日) 人、此方成
、自了達、今、先決内、外、研、
模、
午後五時 通商協会、所、議事、
帰宅

九

月

25. (火) 雨 江雲

午前+時去前 就緒1分、又就緒整現

午後2時令議室→政経年令司候令始→
名全+川田太郎丸、二時向午、一歩心在印隊
算族アリ之時、片屋さき→以就緒ハ時叙令
令、ナリル否ニ表トAuto、梅田→心、口夫、
送り、書冊ヲ購ヒ十時所迄

土没並流竹中	
(文) 能持全@2. 1冊分迄	3.00
書時代	4.00
Multis 2冊	4.50
Weni	2.20
Hong	2.40
中書物	.25

九

月

26. (水) 晴

就緒左記

杉山永著 社会科学概論の終り(文) 既八

(文) 永登	85.00
--------	-------

九

月

29. (土) 曇雨

午前九時半去所

川口候一節史の寫神充一紙 大原氏十月の年
大改の令見、是也、増計の退り知りて之を去り
年一時二の中心故に 佐の年川に氏に十月
二日又去す十月十日、四日乃至十一日迄、何の事
もなし、退り、寫神充の書状を以て、但し
帰途二の大原氏の年一十月の令見、之を
別一申紙に附し

井上氏二史來訪、年、隣縣の十月四日、
他、河上太吉郎史、致、此に附品を添へ
方節手校、修繕、此に付也

就表類整理

月分退行の旨

(土) 労働手校 二ヶ月分寄付	20.00
伊勢草紙	3.10
Butte	1.50

九

月

30. (日) 晴

午前十一時、復唱十一時、暮

主大講演部、川口氏に即ち書状を添へ、依
頼の封ハリ、他の健康回復、上希を付する
ことなり

外回付十一時、暮

(土) 文計費	109.79
母上	10.00
経費 2.12 7.75	9.85

1. (月) 晴

一日在室 書冊整理 手帳書付

下村元史君以ハ問題、シテ、)

大原君ニ即史ヲ入状。三日岡山ニ半入

ハ紙ヲ草造、品書状

計謝状ハ一紙過日大元史ハ之ニ主島ノ少
送ル

(出)	明治品中	4.18
	九区	
	心算経済史	
	経済史	2.00
	十何年大元史	30.00
	研究資料	
	Wm	2.20

2. (大) 晴

午前十時半大元

明日大原氏ト會見、甚ハハ本日、研究員令。

止メ明日ハ可クナリ

森ハ内務ニ去ル、Gleaner Marx 其他、Venise、

假使存方、示、Vnuark 土計ヲ製本、付付令

内務史ハ本邦史ハ才文鉄ニ付 Moroccan, Instilled
希望ノ各ハ一十程造ノ森戸史ハ相読決文、上込
行方ハ札

内務史ハ活動調査材料 編整、付相読ス

午以ニ時中退社 四時半大元内自由通高
場令ハ行、産業調査令委員令、可ハナリハ私
田園等、他海田ハ南野其他、殆ど史半集、鉄及
本邦、國ニ材料、薙草及編纂、アハ付付
令。散令、リ屋以ハ

同計ニ改造、讀本造丸本訪、経済年全集、
講演令ハ札ハナリハ

大原氏ハ明日急、差支ハ正則報外、
電報ナリ

(入)

研究員ハ旅費 50.00

(出) リ屋

6.70

3. (水) 雨

＝ 此の在る 矢内原氏の「漁民政策」の呈請
中、人の問題に宜しく偏重し、読者又書状
認めたこと

朝政改造、村田秀治氏来訪 五日、午後八時
あり、同日朝政立上げの旨を述べた

所長計一、明日委員会前か又所長は一面
知照する所

大原氏一十二日以後、此の後々令讀む計
意味の答に可笑しき時日指之る計あり

4. (木) 曇

＝ 午前在る講演、準備ナラス

午後二時六時、河上武人の問題批判に
読む

午後七時大改訂編輯手帳にあり、七時十分より
二時向、財政一般、読者ナシ、読者ヲ四通電車
の田舎

5. (金) 曇

二 夕方東大所台令主催、土曜講義、講演、
主に甲寅トニ東大一行、2人

朝 9.15 住吉院

11.30 大津路

下車 駅前、荻之庄、投宿ニ宿、一室ニ設、講
演、草稿、書

夕 9.55 大津院、特急ニ乗、主に、座、入
リ、トス

(女) 正 授 在 今 時

3.00

6. (土) 晴

二 朝 7.28 四府中着下車、高台、入、
休息、フ、草稿、読、吸、稿

午 以 2.59 四府中着

4.32 東京着

主に、白動車、配り、一、橋外、主に、
投宿、四府中、主に、主に、主に、主に、

夕ニ時 Auto、配り、車、即、退分、主に、
主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、

改造社、横山氏、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、

又、青方令、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、

カ、河野安丸、講演、以、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、

既、河野安丸、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、主に、

7. (10) 雨

朝大時、頃 辰巳川可次郎末幸坊 大内原史土
 心配じやうしん 井川春次郎末幸坊 旅費 = 付切込
 あり 大内氏一宅接見 今月半也 気配 以上ハ心
 配りなり 旨吉野作造史の末次方共ハ心 全近
 口合ハ心配ニセハ云フ

嘉治丸大内氏末幸坊 此處迄是 辰巳川丸評
 午以二丸ト宣辰ノ共ニ又 午以二時 頃 評吉カ
 嘉治丸ハ心過リ 全生 題主ノ過一 評吉カ
 ナリ又 是丸一 全カ 改送可リ 全生
 部分、下翻記ノ此中ハ心配ニ付 半認ノ式ナリ

午以四時、頃 大内掃田ニ末幸坊 大内氏
 心配り而令前ハ心配り 又ニ丸のハ大山
 柳末次郎行、外明、清美末次郎 明日辰巳丸
 早幸、上死計ノ旨ニ是ケル 種ハ使合ハ
 時評吉カ

8. (11) 雨 果風雨トナリ

朝大時 高見ノ東幸歌ニ行ナ毎々春ノ晴ニ
 次ニ 4 時、辰巳川末幸坊ノ子左 夫人ニ云フ
 様ナリ

暫シテ人仕ニ 三寄ハ大島史子左

更ニ 二時、辰巳川 大内氏 評吉カ 全生ニ付
 實利史、軍内ノ見物ニ存外快盛ナリ (驚)

二時過 市安史ニ行リ 大野町末次郎(史)合

辰事以ニ丸ト共ニ一總取立ニ行リ 大野町史

總取ニ 秋佐止ケルニ又ハ 短切ニ止マシ

健康ニ行ハニ付 物ナリ、意ノ走ニ付又

ナ生、身ニハ付テ 評吉カハ心配アリ

暫シテ評吉カ 評吉カ 辰巳川 午以二時過ナリ

午以三時、頃 辰巳川 大島秀經丸

末幸坊 辰巳川 評吉カ 全生ニ付 全ニ再

左生、此主ニ付 評吉カ 一時向計、ノ評吉カ

ナリ

午以四時過 此頃 辰巳川 大内氏

帰朝ニ半始ナリ、而令ナリ

結ノ機 田徑ニ付 史又 掃田史 大内氏 末幸坊

蓋ニ 今ハ 辰巳川 末幸坊 評吉カ 全生ニ付

辰巳川 大内氏 評吉カ 全生ニ付

カクハ 三時 幸土令鼓、地下辰巳川 行ナ

+

11月

8.

北に走る主賓に之、今土四人并大島丸
加一飲味ス

リ十時辛土会館より川柳に自働車より
車庫へ至り笑ひて帰田、竿立橋、故障アリ
10.40 発、十一時を過ぎ、主賓車マ
ス返り、五丸、鳴き、舞、ナ
十一時半、主賓車にカウナリ

+

11月

9.(11)時

土 朝十時半、主賓車、若下車に、萩の赤、松
高湖岸、入交、主賓車、此の体展ス

+

月

10. (水) 晴

午前10時、町田迄

午後1時、新橋迄、午後3時、町田

(出) 東京行費用

91.39

+

月

11. (木) 晴

午前10時半、出所、事務処理

Sussumel 若書初版、付調へ初ム

午後2時、順成利順四郎君事務所へ行く
四時過ぎ、Autoで駅へ、四時半、今堀大ビルへ階
生今堀、至り、全始まる五時、司令、大月不可、午前、明り、花園主事代理
＝出、礼状、宛送、ら、あ、は、一、と、と、ま、ら、二
月、と、向、来、朝、付、協、会、に、初、通、付、事、認、求、ら
る、に、予、議、最、付、代、の、方、策、付、供、正、史、議、
案、の、説明、に、異、議、あり、可、決次、今、提案、に、ラ、労働、令、議、民、向、代、表、選
出、改、善、案、の、議題、に、ス、レ、に、と、案、書、成、立
次回、審、議、ス、レ、に、ス出、利、史、提案、に、労働、協、議、会、付、寄、未、定
史、提案、批、評、事、次、現、由、調査、付、ハ、順
次、議、ス、レ、に、ス

次回、特、十一、月、才、に、本、曜、日、令、に、

七、時、既、り、未、定、出、利、一、史、初、通、令、に、却、り
未、定、者、議、議、出、利、史、按、切、アリ、ハ、時、半、散
会飯、島、中、島、同、友、自、働、車、未、定、者、上、同、乗、送
に、九、時、過、り、完、了

+

11

10.

峰峻表の九月二十日の毎地方帳二分析が大
改・移りやう、記事アタリにその事実記号の先
一過下り、并解アリ、此の何十分意セリ
言書状人

+

11

12. (金) 晴

昨日在宅日記の読了と又散歩ナトに1日の
過つ来書状セル新朝社の新聞の記事アリ
此の走り手ニ来

(入)

恩賜

409.50

新朝社刊至高料

100.00

同社刊電報料結反

10.40

(出) 計得預金 32.50
13.58

Delica - 散

46.08

1.35

१५

二 午可入時 申未可

Süsmilch 8-12, $\frac{7}{8}$ 50- + 11-3+2

午以二時，過思所，四時過自由過高陽令，
夜半過空令，七時大駒大母記治連中，以規也，
以之資料蒐集，模模以之，今月中，以上之
見之，以之，如此七時過，故令，以之，以之。

(2) Butter = 12	3.00
Vermisch	1.50
zusätzlich	2.00

14

秋晴、快天、午 = 7-30 + 晴中、矢車 = 来 =
+ 此、人、仲 = 明石 = 所車 錦城、九、ノ、長、廣
：下、航、歩、ノ、岩、屋、至、リ、無、看、塔、叫、話、ノ
空、合、ニ、以、給、島、辺、ノ、散、歩、ニ、午、以、四、時、方、帆
航、ノ、帰、途、一、秋、十、明、石、々、値、ノ、テ、秋、ニ、5、ノ、
矢、車、ノ、帰、途、セ、ル、七、時、頃、ナ、リ

(出) 米価行費 11.12

+

17

17. (水) 晴

= 昨日 + 世間手 = 物置、掃除ス

(本) malz-schall

1.70

+

18

18. (木) 晴

= 午前入時中ノ所

森川内藤談話、二本、読了 + Vauquelin, Beck
number 注文同意、鋸、記録調、言レ可読才
ノ場ニ至ス東大法科生河合隆夫 + 完全学見、現今の
半信、岡山、事件、調査書大ニ付記可、事情
ノ進ニ至午後 + 完全学見半信 各地、北ノ調査
資料蒐集、付記ニ配慮才收束スLebenskostenindex = 付 „Wirtschaft u.
Statistik“ ノ見ニ

ノ整理可、所至

(本) 限外毒々々
知人ノ所至付

3.00

۱۷

19. (令) 晴

既曰左氣 朝大時過毒卜丸斗份。大山指四女內
決川 金生國學，早瑞昭丰、十才丰世、宣心
話心合七二人，竟欠、理十毒卜丸斗女山氏一
中七運一止二 十二時，吹雪去也

午後一時迄横山おこま氏 遊・勤する
高田常治師兄・仲人・東村久雄の叙ス一日
かん

2

20. (±) 量

朝 + 時 乙 可

詩の表と重複調、同調可読、付加調、可読

① 以一時中退計以折入并連、労働年校
 ② 行、又経年會財収支受令、リナ、古野森、以
 折、これ又年ナ調査事項、世立書ナリ、云ニ合フ
 ③ 時故令

キトをいふ件は電車の中、ゆかり、仕事、
 子、金、ト、

夕 4 夕、整理人

おちまち、今朝早くに

(2)

३१११११ ४१०.००

(七) 所遺以今字

70.00

+

月

21. (10) 晴

午前 山崎君に訪れ、中西島を歩き、午後、
山崎君と一緒、一時の計りの碑まで

午後 山崎君の道に歩くと、山崎君の道に、
山崎君の道に、山崎君の道に

(出) 山崎君の道	6.80
8.40、山崎君の道	
Portugal - 山崎	2.30
山崎	1.00
山崎	50.00
山崎 - 山崎	10.00
山崎の道	

+

月

22. (11) 晴

昨日、山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に

山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に

山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に

山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に
山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に
山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に

山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に
山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に
山崎君の道に、山崎君の道に、山崎君の道に

(出) 山崎君の道	38.00
山崎君の道	5.00
山崎君の道	6.52
山崎君の道	1.50
山崎君の道	2.40

+

14

23. (火) 曇雨

午前九時過ぎ雨

新築地へ

大林史・坂下・Hovell, Chartist Movement
 1. 読者評定(読: 読) 以、意見、述、の点、
 先、い、た、

午後一時所、東京、森下、大林、久、田、向、田、川、
 四、五、六、七、二、時、散、会

品、書、同、作、坊、令、司、鉄、書、森、川、内、崎、警、冲
 森、下、読、者、史、之、第、品、書、新、築、地、入、注、文、手
 続、は、場、議、二、時、半、散、会

森、下、史、上、の、手、続、仕、事、に、大、片、手、配、は、
 方、便、に、会、運、動、也、十、分、史、編、進、め、ら、れ、
 也、分、担、之、

カ、ラ、五、時、足、計、通、常、場、合、出、席、帰、矣、

+

15

24. (水) 雨

既、口、左、定、過、暇、半、日、記、三、項、又、書、題、整、理、

入

(出) 永登

85.00

正意足費

179

+

月

25. (木) 曇

午前大時過立雨 就務必并

十一時午經堂(譯者)令故智以板望換取,
 四處大時 幸今波, 今屋盤, 21 市-過を乃+今向
 '諸才向, 恩托史, 獨筆史, 割者, 受+四定
 覽堂, 一系(使用) 21-21+1-21+12時散后

'Wirtschaft u. S.' = 付 Lebenskostenindex
 7 (過) 7

就務必 外整地

是處~ 100 豪仙夫~ 100 仙夫 (Angels,
 下翻訳始+100+100 市= 身上+100 仙夫+100
 市仙夫

午以四時退所 町宅

河上第宅, 幸故-出心+100 仙夫+100 仙夫
 100 仙夫+100 仙夫, 上-色事+100 仙夫 又
 100 仙夫+100 仙夫, 100 仙夫, 何人(100 仙夫) 幸士+100 仙夫
 100 仙夫+100 仙夫.

矢内第宅, 幸故-出心 今-100 仙夫+100 仙夫
 100 仙夫+100 仙夫, 100 仙夫+100 仙夫, 100 仙夫
 更-100 仙夫+100 仙夫, 100 仙夫+100 仙夫

(出) 前偏幸故~

10.00

+

月

26. (金) 曇

午前+時中+幸神戸-100 仙夫+100 仙夫
 上-100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫
 100 仙夫+100 仙夫, 100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫
 100 仙夫

100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫
 100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫+100 仙夫

(出) 市部中堂-幸仙夫 2.00

下 2.00

十

月

27. (土) 晴

午前+時中書所

Wirtschafts-S"に

今リ我輩(四)達令に定時に大朝大毎連、
都合に中止した。依り午に退席。午天地、
見物記、入り内を

印東總次史此を、報アリ近來友人次々
地男に即力に感アリ

(土) 印東史子受令 3.00

十

月

28. (日) 曇

午前+時迄 三輪壽莊史來訪 日方受、内部

事情=執事張リ 十二時、退席去リ
午所喜+世の中西午退一散歩
此方、計力ナリ

+

月

31. (水) 晴

昨日在定計中、夜に日記をつけたり

(土) 及所費の合計

4.00

永計費

111.64

母上へ

10.00

Delice 一瓶

1.35

書冊

4.26

+

-

月

1. (木) 晴

二

午前一時迄

"W. & S." の火

午後一時事務令 爲中校智森川内峰
以曉迄、始末を端 萩原君と端 朝長場迄
二時散会 皆止り、今般室係為二十分
事務令 久岡次之進、送行するまで

中央戦学館分計、松村君と計 通般室係
、礼つて了

午後四時中退計 士校自由通高場令 産堂
説法令二時、大朝、和田君外二名 大毎、佐藤
君外一名と端 大毎、才君と端、佐藤君
、大朝、才君と端、佐藤君、大毎、
、佐藤君

(入)

戦学館分計の通般室礼 20.00

20.00

20.00

十一月

2. (金)晴雨

三 午可右主新秋必年

午後一時的に幸始の大豊前、早晩の談つて
一時は分、汽車の幸始一行の概要の幸始一行
の吹の、大西陽りおに送一本階リハル、中、の
計の、電車に乗つて、市中、飾り、は、ト足切の、竹野
内、の、ケ、に、近、近、の、四、生、通、幸、始、の、歩、の、四、幸、大
橋、時、近、の、り、屋、に、一時、幸、車、の、の、の、の、の、大
時、吹、り

(2) 旗旗竿	1.38
其中 竹竿 为 2 元	1.60
主 杆 竹 竿	10.45

+ - 13

3. (±) $\frac{2}{7}$

[illegible]

(六) 車工班 車削工費 9.20

+ — 月

4. (14) 晴

午前+晴, 復習+1- 費ヤス

午後一時, 吃+尔鉄丸台(透り), 号運
来訪+ル 種+族 証 四時 切場~3 种+戸 比
依+所+リ 辰 云等+決 田 気ス 田 丸+二 田
研+産 沙+宿 泊, 上 東+卒+四 八+窓

(七) 月 辰

6.60

+ — 月

5. (14) 晴

= 吃口 在 定 行 方, 整理 +1+2

(七) 月 辰

5.00

Rutter

1.50

+ - 月

10. (土) 晴

午前+時一郎、伴七位、村役場へ出、今日の大
費執行の際に、田へハ+敷地、ミビト下賜
品アリ、更、奉行式施行、タノリ - 節ヲ代人トシ
34.00 金アリキ

夕方に妻ハ世に人迎へ、神戸へ出、市中
先輩ノ見物ニ一時過リタル

おひや - 木村 - 10.00

(出) 神戸行費

1.09

+ - 月

11. (日) 晴

午前+世復習 午後妻ト+世にラ有馬通ニ

遠足ニ四時中ハ出

芳泉+同方トハ読ミ

十 一 月

14. (水) 曇

既日在気書冊整理中。前日

(書) Butler

204
7411

1.50

.35

十 一 月

15. (木) 曇雨

午前九時半去所

鈴木堤大史。処世、方針、選り方、

術又

讀書雜誌の整理に又任充てゝ返しに

讀書行本送し、一冊の送し

神戸の、也、短事録、Lufel 氏、本、訪、訪、
債、工、場、方、動、物、状、態、に、付、本、に、寄、附、し、
以、て、

卒大、各、~~本~~、即、充、て、本、に、寄、附、し、
送、上、す

午後四時半退社、用迄

+ - 月

16. (金) 雲

午後四時過 十世二人、連一大阪、府中、
青紙發、見物、道頓堀、カサネ、7時、10時
過、田舎

(土) 大阪府費

8.88

+ - 月

17. (土) 雲

午前六時半、出

以、有、夫、河、元、夫、の、電、報、を、一、件、相、談、ス
十時半過、計、市、内、の、故、多、ナ、リ、リ、方、田、舎、ス
即、第、二、の、著、物、價、指、數、論、ヲ、読、ム

夕、十、時、以、降、夫、半、分、ニ、言、及、ハ、河、元、ニ、言、ニ、夫、
令、ハ、リ、ト、笑、ハ、シ、同、ニ、ナ、リ、ニ、夫、半、分、向、夫、半、分、
の、方、を、近、状、ヲ、述、ベ、ル、ニ、且、日、本、民、意、ハ、現、場、中、に
無、産、大、衆、意、ハ、全、同、人、に、社、民、同、人、以、及、同、車、
派、同、人、に、外、派、ハ、全、派、起、ル、必、要、ヲ、説、キ、
テ、降、光、状、由、説、ク、得、カ、ル、衆、衆、熱、心、ニ、説、
テ、今、ハ、所、及、所、近、状、大、作、ヲ、述、ベ、ル、ニ、
処、置、ヲ、付、カ、ル、内、説、ク、テ、衆、衆、熱、心、ヲ、説、
テ、最、後、決、意、ハ、説、テ、以、テ、旨、ヲ、説、
テ、其、方、の、日、方、を、入、説、ク、テ、衆、衆、熱、心、ニ、説、
テ、今、ハ、大、阪、の、此、外、同、人、の、方、東、上、ニ、説、
テ、衆、衆、熱、心、ニ、説、テ、一、週、同、人、内、ニ、此、同、人、の、決、
テ、此、方、を、説、
テ、此、方、を、説、

カ、リ、此、方、に、社、民、同、人、の、方、東、上、ニ、説、
テ、衆、衆、熱、心、ニ、説、テ、一、週、同、人、内、ニ、此、同、人、の、決、
テ、此、方、を、説、

カ、リ、此、方、に、社、民、同、人、の、方、東、上、ニ、説、

18. (11) 曇

朝 11 時 30 分 11 時 40 分 11 時 50 分 12 時 00 分

11 時、頃 生 棚橋 山 久 氏 来 訪 12 時
迄 12 時 30 分、全 門 内 部、現 況、建 設、12 時 30 分 迄
全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

19. (11) 曇

既 日 在 宅 所、事、同、12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄
12 時 30 分 迄、全 門 内 部、建 設、12 時 30 分 迄

十 一 月

20. (火) 晴

午前九時半出立

就寝、整理ス

十一時過ぎ 泉石川万次郎丸来り 井ノ中根迄、
件ノ話ス又所、近状ノ先ノ意見ノ事、井ノ外
諸史に今ノ一午後二時、夜睡友カ

午後二時半出立 自由通商協会、立寄ル
田ノ向野ニ丸トニ旅行中ナル村田為藏丸
今ノ能本丸、至福ノ信心ノ丸同質、上平
生丸ニ四ノ田丸ニ此ノ丸枝、手帳ノ持ル
ニヤリ行ス カラ三時四時

リ所、此ノ時、又兩階方協令我輩
受諾出立、世史ニ付録ス

(入)

所カ

450.00

(出) 大坂方面料

10.00

Shiraw ~ 新橋

153.84

Mitta

1.50

Honig

2.40

十 一 月

21. (水) 晴

午前十時半出立 井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル

川久面河井下ニ丸来り 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
ニヤリ相談ス

井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル

井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル

井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル

井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル
井ノ中根 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル 泉石川 氏ニ 六時ニ至ル

+ - 1)

21.

例 1 二時, 頃 石 子 11

7. 明日、四時分働場へ行き、草むしりをする。

新土波列無賃乗車券、返り来

+ - 13

22 (木) 晴

午前九時半出所

後漢書 = Briefe = 十一年通の復ス大毎村島
書 = 頼り字英にスル書、タメナリ 補録、而も通に、英、明

大井史 = 過の大塚氏、述べられ、著るべき
矢張り、のす歳と云へる点に、画カサリトナリ、年
カカレ、元ヒカレ、著ナル = ドラビタニ、カト、白、是定フ

雜誌類整理

午以二時過汝利順四部史未訪打合也
四時中太比ハ略ニテ司令、國際労働協會
ニ於テ五時司令一ニ、理事、此ノ地位ヲ付四
(大毎)史ニ讀ミ、全ニ國際労働總會、此向答
員薩方方法收集ニ付全、提議ニ説明シテ
楚ク、後編ヲ附セ大算數ニテ全、提連英ニ
引セ七時中既リ今卷散令

陽川殿島中書曰史、白勅申ニ森下史ト同乘
 森下史下申以申下ノ無度定、同傳ニ同史、
 意欠ヲ叩、所成紙ト、宣傳ナリナルヲ以テ整成
 此ノ所成行、文持ナリナルヲ可ト之ル方決
 所成ナルナリナリナリ

十 一 月

23. (金) 晴

午前以藤久治史、令及以藤久一史来訪 暫^ハ心

ヲ辞去ル

午後二時過 書室上段 先^ニ工城^ニ以^テ以藤久一^史
 以藤久^一 高平切^下 (金、以藤久^一 10) 以藤久^一
 四時中過 坊方^ハ、奥科科現法^一行^ハ以藤久^一以
 令及及前田晴示^一今 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一
 勇^ニ以藤久^一 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一
 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一
 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一

(出) 以藤久一史 20.00

十 一 月

24. (土) 晴

昨日在定 整理^トス

午後五時過 書室 大段取^一行^ハ以藤久^一以藤久^一
 夕^ハ以藤久^一 10.10、汽車^一来^リ以藤久^一以藤久^一
 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一 以藤久^一以藤久^一

(出) 以藤久 85.00
 白粉^ハ以藤久^一 2.70
 以藤久^一以藤久^一 1.00
 Portugal^ハ以藤久^一 9.20

+ - N

25. (10) 晴

午前十一時東京駅着 土4: Tan-17 予土会
報靖養軒: 投稿 No. 23 空入

宣辰、所_レ出_レ者、高_ニ以_レ一時_ニ、所_レ存_ニ沙_ニ相_ニ也
十_ニ主_ニ校_ニ、行_ニ江_ニ東_ニ校_ニ、交_ニ今_ニ一_ニ者_ニ、節_ニ不_ニ令_ニ移_ニ報_ニ告_ニ
、以_レ今_ニ校_ニ、打_ニ今_ニ、些_ニ數_ニ盡_ニ、王_ニ時_ニ遇_ニ散_ニ令_ニ
銀_ニ處_ニ、出_ニカ_ニリ_ニ辰_ニ、ハ_ニ時_ニ、節_ニ帝_ニ

同音，以越等一處來防一暫の注
入注，以一等外注

(五) 根支令 Γ

.. 令費

19.90

50

十 一 日

26. (月) 晴

午前一時、順つて梅田梅田大内、己未生草
大原氏の令兄の新緑美草を針、2+1 報告及び協
議、近の大原氏一家、2+1 新緑美草、筆端、方
針、大原氏一人一人に編成、2+1 之、大原
氏の、延事、2+1 協議、2+1 大原氏一人一人
致す

乃乃似く就寝二午後四時半、頃 睡 意 有 之

午後五時半、頃大島東姓丸、合談 見本古
斗、親和字典、エカル 本今迄、此の可支度
物質上、外神助費、要エカル 本今迄、神助
費、所、使挽上、互リ、互支、付、合協、之、不
カ、七時迄、相付、つ、古銀 分、決、金、ハ、大、人、ハ、
夕、辰、二、四、ハ、

十 一 月

27. (火) 晴

午前 十時 午後 先、駿河台 金谷 木町、入江邊

去來、訪、不在 皆先、*Bahnhof* = 駅、所、以、

時、

次、中野、福田邊、丸、訪、新、所、交、

近、此、十、無、查、交、近、此、十、後、二、十、過、十、丸、

、車、由、一、四、五、福、丸、一、行、十、飲、風、二、フ、快、速、

リ、分、鐘、十、五、分、十、一、二、十、分、十、分、鐘、十、時、過、

時、鐘、

土、境、二、向、十、リ、十、鐘、大、島、島、崎、島、久、遠、二、

以、九、十、五、車、車、取、張、明、計、律、下、車、馬、堂、二、

坂、柳、

十 一 月

28. (水) 晴

午前 十、一、時、後、十、時、靜、養、二、後、在、十、車、二、

秋、庭、

十 一 月

29. (木) 景

午前 9.40 大改歌番 市中来校 - 十一時前

帰宅

外中 勉強 外 読 11月

留中 吉川 口 暇 河上 太 吉郎 吉田 賢一 望月 源

流 三 来 来 方 町 一 町

又 念 教 1 宇野 邦人 夫 事 伊勢 光 官 帰 途 来

訪 町 一 町 飯

仙 台 市 野 邦 全 名 名 院 以 上 主 動 心 飯 11

(出) 上京 押 金 券 = 10	9.00
市 士 会 報 柳	9.80
出 地 諸 費	23.85
寄 子 生 年 $\left\{ \begin{array}{l} 1.24 \\ 2.12 \end{array} \right.$	11.48
21-7 1 煙 葉	9.80
便 紙 飲 料	1.00

十 一 月

30. (金) 晴

午前 十時 去 所

鷹 津 史 - 臨 美 国 保 事 院 駐 立 調 査 員 根 々

森 戸 史 - 東 京 口 人 妻 向 院 又 大 原 氏 - 文

學 手 二 町 丸 町 Prof. Calljbecher 死 者 手 1

高 書 館 読 書 整 理

午 以 二 時 中 退 計 自由 通 商 協 会 立 寄 凡

大 朝 方 向 町 在 瑞 文 氏 大 毎 方 向 一 位 便 手

教 1 研 究 所 氏

夕 部 卒 之 功 著 物 價 指 数 編 読 計 113

(入)	(出) 江経研費所 -	10.00	
研究計画旅費	25.00	書冊代	8.46
		研究計画費	2.00
		13.11.11	1.50
		旅計費	129.62
		廿五 -	10.00

十 二 月

1. (土) 晴

二 祝日在室 即夜讀書 + 整理 + 記事

午以散步 + 東明・行 + スー・笑 + 無煙炭
の煙を

大原隆二郎氏 此書 1971.14 - 改定、記、
地理 22、外 + 22 近日 読美 編成 17 日 - カバー
ト中心に

(土) 日記 4冊	10.00
記 5冊 調査記	10.00
冊 読 知 友 会 社	4.18
Winn	2.50
散 歩	1.00

十 二 月

2. (日) 曇り雨

午前 + 世、復習 + 1 - 暮ス

物質 指数 論 1 巻 4

本 2 - ユー・ス・フ・2 - 読 4 -

(土) 日記 4冊	1.30
-----------	------

十 二 月

3. (月) 曇

昨日在交于机り退き書冊、整理、行事
午後一時過森教授村東来訪、来り文日幸留、
设计大会への講演依頼あり封ハル是れハ、
希望に不得止、若し设计会、人の手稿、作
品ハ、ソレノ読ハ程波ナリト云ッソレヲ可
ナリト、ナリ云リ云時、受評云カル

十野村東一東大校長然ハ、中健尔、一
曾注意ナルヲ云ウ云云

大改地才裁判所ナリナ作調停委員ハ、曉
達ハ、報リ草送、旨返事ス

浅利昭四郎東へ、ハ、日ナニナリナ
行ハ、餘美、宜ハ、大厚氏ト、令見、都合ニ或
差支ニカニ知ニスト返事ス

十 二 月

4. (火) 晴

午前十時過去所

鷹仲丸一餘美同件、費用、数ナリ、理ナリナ
又拜下丸ハ、先頃月ナ、原草ナ、地談ス

午後一時所交員令令会、森戸昭四郎大
林、諸君名簿

諸君報告、以来今法院美ノ議ニ、總額ハ、万円
ニ、概算、傳送ナリナ、所交員一名、千ナ、前除ナリ
、月額五円、一月ナ、所交員連、月ニ、円ナ、増額、外他、
概算、調査費、千円、減ニ、名、收費、千円、人、社、請
込費、千ナ、買上費、千ナ、他、大、特、此、今、半、
戦、今、旅、費、千ナ、千ナ、減、数、千、
森戸昭四郎一人、千ナ、千ナ、

至急作成、上、大厚氏ト、令見、千ナ、
一人、千ナ、千ナ、

午後四時散会、鷹仲丸ノ、招キ、数、千、作成、
諸君ノ、明、後、日、ナ、千ナ、千ナ、千ナ、

午後三時過計リ屋、以、所、

石渡知所、他、人、千ナ、二、千ナ、
計、及、设计、千、千、千、千、千、千、千、千、
千、千、千、千、千、千、千、千、
千、千、千、千、千、千、千、千、

$$+ = 14$$

4.

(支)	47 月付	5.00
	七龍 瑞樹 付一	2.00

5. $(,K)^{\frac{1}{12}}$

午前十時，由東亞統計協會，田中秀次即來
訪，統計局長田中，親來此會，講演資料，特
先刊出。

意匠以古氣神下 = 中一ノ又又今、
 又下ノ時散意冬飲 二時過 叔飲、
 主位、朝光上リ 一節、成績新書教、
 受取リ
 二時過散

1-11 Oriental Hohl - 行 + 之 時 未 知 ,
 Albert Thomas — 毒 下 丸 — 之 缺 点 之 類 之 材 料
 向 東 亞 行 之 材 料 — 一 之 材 料 好 又 諸 利 也
 一 之 材 料 上 等 之 材 料 好 又 諸 利 也

1. 宣-至 4.12.7 宣部-行, 宣-至-行
自宣-至-行 宣部-行 宣-至-行 宣-至-行
(宣-至-行 宣部-行 宣-至-行 宣-至-行)
9.09 宣-至-行 宣-至-行 (宣-至-行) 宣-至-行
宣-至-行 宣-至-行

1-21 咽の讀法、 $\frac{1}{2}$ 分 = 時11分

Butter	1.50
--------	------

Helica 1.50

$$+ = 17$$

6. (木) 晴

[illegible]

今以七時至會合、可。拜了十堂并球位等以
遊覽山上、始見久車道的丁休車後、可負托車到
游館報告及議事、既二開上車、車以至榮一夏
之事項、就其間中、戒告之計則
此乃以親近一時散會、同遊電車之場、帶上
之十堂升車之事件資料、計相談、尚有一紙
研究報告、相談、已事之止、

$$+ \quad = \quad] =$$

7. (金) 晴

昨日在气休養了
午後一時來教檢束來訪此日講演，礼
束此束時間，以靜玄也
說到順四節處一書說「アズエケ又万事の
以頼ん」ト中述也

(7)

第二章设计规范的制定

(3)

50.00

(出) 大坂自由通商手帳
下付明合費
銀

3.06

1.90

$$+ = \text{H}$$

8. (+) $\frac{10}{17}$

$$= \frac{1}{2} \overline{0.7} + \frac{1}{2} \overline{0.3}$$

鷹沖丸のうり久丸、14 吸炭田分、一説に徳力、
白う思所不運にハシカを喰う事

所—讀心—+書冊類，整理2

子以三時退計 日辰 以時之 四氣

第1中、第2田上竹 = 夫人、米竹、田上、ハ、十、祝
品、持、気、か、

大原研一郎氏 - 読者の討古、文明の徒以
而今の指之、中庭に

(5) 厚田及宮路
クリスマスツリー 30.00

十 = 日

9. (10) 量雨

午前 + 世復習 + 12

今後圖書の整理

(七) Wen

250

十 二 月

10. (月) 晴

午前一時書之上段 有町橋、懷徳堂、行々一
十元部ス 買物ト云々

(土) 午前
午後

1.00

十 二 月

11. (火) 晴

昨日 己輪河野ニ往リ 明野行リ 電報着ル
故 所ニ 午頃書之ス 茶館ニ行キ 待リ ニ来ル
11.48- 午上段又 (電、所ニ 二大所 所ニ 所ニ
電報着ル) 午頃書之ス

午頃一時 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ

大原氏ニ 書之ル 所ニ 所ニ 所ニ

又 十元部大原氏 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
地方中 大原氏 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ

London School of Economics, Freda
Wiley 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ

所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ
所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ 所ニ

十 二 月

11.

及浅田瑞穂部長より事務室の森戸君の文工話を
以て読書会に持入り

この輪史の刊行後、近状の最近、合同経過は如何
否、概ね良好に内装、外装の可成り進捗はあり
同主旨の執筆に十回、準備金に十回、新装版
変式、同旨の刊行準備の要請あり

今、何、その決断の如何に之を決定せしむる森
戸君の意向、意見を聞く

既にその意向、方針が決定せしむる

よく意見を交換し、結果、今、無条件、決断
する意向、あるが、新装版の発行の要請あり

この輪史の刊行、今、決定せしむる、その
方針、既に決定せしむる、その意向あり

その意向、既に決定せしむる、その意向あり

その意向、既に決定せしむる、その意向あり
森戸君と 11.10 迄、準備金に十回、分譲の意向あり
二時、五時

(右) 正
章部行費

2.00

十 二 月

12. (水) 曇雨

昨日の予定 執務処理又「木材関係批判」
根本資料の読書

(右) Butter

1.50

十 二 月

13. (木) 晴

午前九時半去所

森川内海ニ赴ク 全川所ニ渡ルニ至リ
題ヲ指示ス

十一時過東洋市以廻遊事務題題述ニ及リ
午後改メテ其ニ所ニ改メテ以廻遊事務
、其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務
午後一時半過西門カ Prof. Brinley Lederer
ニ、其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務

題題述、其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務
其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務
題題述、其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務

(市) 市内散歩 1.00
Vorwärts 社ニ 18.65
其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務

十 二 月

14. (金) 晴

既ニ其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務
既ニ其ノ中ニ所ニ改メテ以廻遊事務

十 二 月

15. (土) 曇

二

大分迄マリアンナ向ケリノ 刺ス
午頃山麓吉田河上ニ在リ 順次マリアンナ
ニ面会スルニ至リ 病勢悪リタル事分リ
事情ノ速ニ決断ス

十 二 月

16. (日) 晴

二

大分県マリアンナ原惣領一ノテノ病ヲ
アリ区ニシテニマリアンナ野村医師ヲ招キ
ニ至リ生ズル心死スルニ至リ 吸草粉ヲ

(書) Wam

2.50

十 二 月

17. (日) 晴

≡

習福漸、治水、午前記述ス

整理及之状、レ認ル

官島田男大妻、今日の帰朝、飯、研、リ、リ、改定、
装、ス、レ、ス

花、ソ、リ、万、次、郎、大、主、氏、の、マ、リ、子、事、マ、リ、
数、の、中、一、宛、促、状、を、積、リ、ハ、ル、又、是、の、来、計、
辨、明、状、(内、主、の、大、内、宛、回、一、主、二) - 一、
所、付、内、証、
3、台、の、中、に、送、ル

大、内、主、一、主、大、主、氏、の、子、事、マ、リ、
子、障、り、師、師、令、大、改、主、員、各、決、議、
事、通、過、ハ、大、改、
主、員、各、評、議、中、に、
台、に、中、に、送、ル

何、上、第、一、主、大、中、一、所、近、改、一、
才、知、ラ、セ、ル

(右) 一部、
主、部、行、受

1.65

十 二 月

18. (火) 晴

≡

午前、上、段、先、主、氏、の、行、
主、氏、の、行、主、氏、の、行、
主、氏、の、行、主、氏、の、行、

森、主、氏、: 四、段、主、員、令、大、改、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、

主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、
主、員、令、主、員、令、主、員、令、

$$+ = 1)$$

18

時間計り+2 令員, 意見交換アリ

又無^レ音 近^レ以^レ宣^レ以^レ田^レ方^レ丈^レ土^レ 報告アリ

十時散令内気也〜十時過十)

帰途、岩井君と資料、その付添の紙をうけ
こた

(7)

研究系列第四代 107 405.05

(2) 研究員一員 408.03

十 二 月

19. (水) 晴 12:00 晴 13:00 雪

19. (水) 晴 12:00 晴 小雪
 昨日 在定「木材同販地利」1. 根本堅固、欠
 乏、然り 更ニ路同販、同販地利、欠、然り

(7) Butter u. Wurst-

2.10

十 = 月

20. (本) 晴

$$\frac{1}{2} \overline{AB} + \frac{1}{2} \overline{BC}$$

鉄釘、端、讀、之、心

午以一時事務繁，而，未入黨津談習弄”
內陸登荻原，諸史古蹟，以漢史上章欠略
二之報告，以二時故令

森下 邦男 先生に敬意を込めて

$$\text{例 11 } \mathcal{L}(f) = \mathcal{L}(f) + \frac{1}{s} \mathcal{L}(f)$$

森戸明三 = 史と相談し現事監事、選任、
書面投書、別紙にせよ、決定、覚起するから
駕陣表、乗車二見及又路向表、通知するから
大井表二、全別紙にせよ、投書、要可

午以之時才展託 土段に内自由通商協會
役員會に申請 課税、加へ 金庫本店土内史、樹林
之ノノ費、又土毎大朝記号、第一土材及飲
品又之扱ふナリ ナラニ時 故令所至

1. 大時、頃大朝、起為晴田一姓、其米折
 本、無、其、之、以、合、同、大、令、之、中、央、執、行、事、負、責、
 ； 今、之、地、之、以、向、之、今、議、正、如、何、以、同、一、令、
 合、同、に、欲、通、電、有、地、岸、に、支、氣、感、心、何、の、外、
 意、之、以、地、岸、議、正、を、決、意、之、に、何、の、人、の、
 及、所、定、計、事、十、青、の、鐵、力、に、議、に、迷、に、臨、に、同、僚、
 親、友、の、相、談、に、以、上、十、ラ、テ、ハ、出、答、に、事、人、向、之、一、

十 = 1)

20.

(A) $\overline{xy}$ is

今非昔比

450.00

200.00

(五) 可食部

時經行失
主因於心

1.60

5.18

21. (水) 曇

午前大毎記帳 和田傳五郎来訪 此より大朝
記帳 - 先 - 4時10分 押、12時10分

空倉収束の通神 - 3時45分 - 12時、ワリス
マス、プレゼント、お買物 - 四時迄 作業

大朝、ハム作 - 丸 計4所合江、仲衣毛
伝来来訪 頻りに、今、内定の押、12時10分 全
事文書宛中ハル 旨うき - 10

(左) 本 - 特	20.00 三	70.00
母上 - 特		10.00
内	紙、紙、紙、	20.30
一	紙、書、	
正	紙、紙、	
	紙、紙、	
母上 - 特		1.50
川渡先生礼 (大丸)		10.00

22. (木) 晴

午前 + 時迄 作業

久留向表の無量交関係 - 12時 - 意見 + 心
1. 全カ又動向 Rolle > Spulen 2. 12時 - 12時10分
希望 2. 12時 - 12時10分 所収 内部関係 -
付 事文書 送る

ホリス 級書 今 戦 学 現 今 部、+ 伝 来 来 訪
而 今 2 子 久 史、12時 - 12時10分 - 12時10分 - 12時10分
型 2. 12時 - 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分
表 1. 12時 - 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分
2. 12時 - 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分

全 国 戦 闘 口 盟、+ 史 来 来 訪 12時10分、伝
先 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分
12時10分 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分

大毎記帳 12時10分 12時10分 12時10分 12時10分

午後 4時迄 作業

(左) 国田上計 = 20.00
礼 (筆 + 前 = 10.00) 5.00

十 二 月

23. (日) 晴

午前河上太夫節を聴く 忍談を 向表へ
往く 午、大馬の代りに 是向アリキ 一等向車ニシテ
歸る也

午は四時迄 十世 二人 仲に 神ノ一 行々文ヲ
ヲレ 有馬迄に 輪のワリ屋に 一時休息

其の十世、リスマニ プゼントして 仙石守野の
二冊送る

由家定	85.00
Wen	2.00
4227.7	1.50
夕屋	8.70

十 二 月

24. (月) 雨

午前十時止

多久丸の 忍談 向表へ 出で 立寄、此の 午の
記に 可く 考へ

鷹神丸、掃田丸 立寄、向表へ 調査費 -
松崎 相親 送る 送る

十世 井原氏、使主 井原 資料代 (中百五十四金
"所望の 柳頭" 金、中 留保 金、送る 送る)
ヲ送る

久留向丸、理事 以 選、付 可、由、同 留、ハ、送
行、付、送る

John, Geschichte d. S. 73 送る

午は三時迄 是向アリキ 向表へ 送る

大原氏 一重ヲ 忍談、指、送る 亦、又
掃田氏 一重ヲ、送る、送る 前、若、朝
往、向、送る、送る、送る、送る

(大) 書母代

8.27

十 二 月

27 (木) 晴

午前 10.35 汽車より滑り神戸へセリ、浅川町に
 設、有馬寛欣、乗ル 五十分、午の五時迄有
 馬、騎 8.50

市中の散歩に有馬、一環に附近、松崎
 の屋敷に定食に午後四時、乗車全自動車 1.10
 の五十分計、有馬、乗ル、一寸歌戯、観
 望、以、電車より、乗ル、午後、五時、迄、

大塚氏の今内隆吉村並に、区事、

(土) 有馬所費

5.55

Butter in Wurst

2.50

Bacon

2.40

十 二 月

28 (金) 曇

午前 十時、浅川町より、大塚氏、手紙
 係に、区事、計、相、談、又、大塚氏、人、心、事、喜
 上、車、而、令、二、時、五、分、心、理、相、談、外、一、時、に、

更、一、人、而、同、車、に、大塚氏、区事、十、分、相、談、
 田、一、人、而、同、車、に、大塚氏、区事、十、分、相、談、

定食、有馬、神戸、高、高、行、十、分、相、談、
 而、令、車、子、計、相、談、計、相、談、Vol. 5、有馬、
 而、令、車、子、計、相、談、計、相、談、計、相、談、
 而、令、車、子、計、相、談、計、相、談、計、相、談、

有馬、神戸、高、高、行、十、分、相、談、
 而、令、車、子、計、相、談、計、相、談、計、相、談、
 而、令、車、子、計、相、談、計、相、談、計、相、談、

(土)

設計編令の編文書並に 50.00

(土) Portugal

2.30

Vanishing Cream

1.35

若前五円

2.20

十一 月

29. (土) 曇雨

可成り暖かトス

午前十一時、暖かい朝、嘉之丸来訪 大塚氏、可成り
ノアス 先づ後り構一室へ移築し、之ハ
現事監事ハ此来通リカ可ナリ、此ハ 大塚氏、
件ノヨリ、一室後り移築ナリ、此ハ移築ナリ、
ト云々ナリ、十一時過、睡去カ

午後二時過、神戶へ出テ Oriental Hotel =
行キ A. Thome 氏に過リ来所、礼ト云々、後
約ノ過テ、睡去、此ハ、此ハ 明早朝、此ハ
此ハ

浅利順四郎氏へ云々、大塚氏、此ハ、
而中迄ハ 明朝此ハ

此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、

(出) Wm	2.50
野村氏へ礼	4.10
(此ハ、此ハ、此ハ)	
此ハ、此ハ、此ハ	3.00
此ハ、此ハ、此ハ	9.87
此ハ、此ハ、此ハ	3.40

十一 月

30. (日) 晴

可成り暖かトス

午後二時過、河野氏、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、

大塚氏、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、

鷹津氏、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、
此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、此ハ、

(出) 楊子五本	3.55
楊子五本	1.50
楊子五本	5.18
楊子五本	10.00
楊子五本	4.00

十 二 四

31. (月) 量雨

午前久留向夫人斗方

午前一時書信上段に概十の要物に過歟
心持橋よりけし午後四時過歟

手紙の返と郵便物の件に一時過した

有司に豫戒せしむるに不快なりと云ふアリキター
母上始と喜々一向健康なりといはれり

(主) 症	10.00
口 舌 干	10.00
分 費 主 人 一 分	3.30
主 人 一 分	3.00
主 人 一 分	123.59
主 人 一	10.00
主 人 一	3.60

